

環境教育の現状と課題を把握するための調査

調査報告書

東京都教育委員会

目次

1	調査の概要	2
2	調査結果	
	区市町村教育委員会（担当者）	3
	区市立幼稚園・こども園（管理職）	7
	区市町村立保育所等（管理職）	13
	区市町村立小学校（管理職）	19
	区市町村立中学校（管理職）	25
3	調査結果の分析	
	環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に関する実施状況について	31
	環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）の優先度について	32
	環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に取り組む上での問題点について	34
	環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に活用したい自然環境や施設について	37
	教育委員会に期待することについて	38
	幼稚園・こども園、保育所等における調査結果について	39
	小学校等、中学校等における調査結果について	42

1 調査の概要

(1) 本調査の趣旨

都内公立幼稚園、保育所、小・中学校等における環境教育の現状と課題を把握し、東京都における環境教育の推進・充実に資する。

(2) 調査対象

- ・ 区市町村教育委員会(担当者1名) 62 教育委員会【調査票回収数 57 教育委員会】
- ・ 区市立幼稚園・こども園(管理職1名) 169 園(100%抽出)【調査票回収数 144 園】
- ・ 区市町村立保育所等(管理職1名) 309 園(10%抽出*)【調査票回収数 176 園】
- ・ 区市町村立小学校等(管理職1名) 128 校(10%抽出*)【調査票回収数 98 校】
- ・ 区市町村立中学校等(管理職1名) 62 校(10%抽出*)【調査票回収数 46 校】

* 区部・市町村部における児童数・園児数の割合や地域のバランス等を考慮して抽出。保育所等については、福祉保健局を通して調査依頼

(3) 調査時期 平成30年9月(平成30年7月時点での環境教育に関わる各設問に回答)

(4) 調査方法 質問紙による調査*

- * 集計について、四捨五入しているため、合計が100%にならない項目がある。
- * 「複数選択可」とは、学校等が該当する項目全てに回答していることを表す。

(5) 調査内容

主に次の内容について、調査を行う。

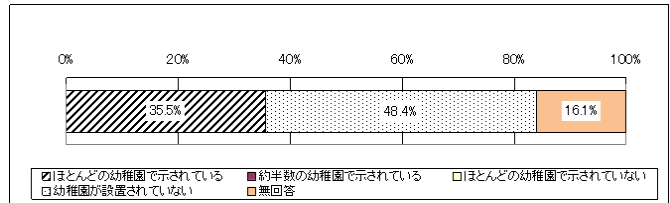
	主な調査内容	調査対象
1	幼稚園・保育所等における自然と触れ合う活動等の実態 (1) 教育・保育内容 ・教育課程上の位置付け、実践例 (2) 推進体制 ・園内組織、地域との協力体制 (3) 教育・保育環境 ・園庭・園舎の整備 (4) 教育・保育資源 ・活用している保育資源(地域) ・活用したい自然環境(森、林、河川、公園等) (5) その他 ・推進・充実に当たって必要となる支援 ・自然と触れ合う活動等に関わる区市町村教育委員会の施策	・ 区市町村教育委員会 ・ 区市立幼稚園・こども園 ・ 区市町村立保育所等
2	小学校・中学校等における環境教育の実態 (1) 教育内容 ・教育課程上の位置付け、実践例 (2) 推進体制 ・校内組織、地域との協力体制 (3) 教育環境 ・校庭・校舎の整備 (4) 教育資源 ・活用している教育資源(地域) ・活用したい自然環境(森、林、河川、公園等) (5) その他 ・推進・充実に当たって必要となる支援 ・環境教育に関わる区市町村教育委員会の施策	・ 区市町村教育委員会 ・ 区市町村立小学校等 ・ 区市町村立中学校等

2 調査結果

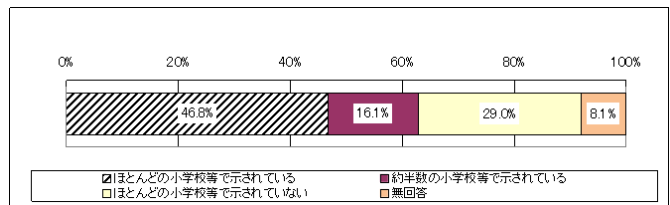
区市町村教育委員会（担当者）

1 環境教育に関わる次の各項目について、当てはまるものを一つ選び、（ ）に○を付けてください。

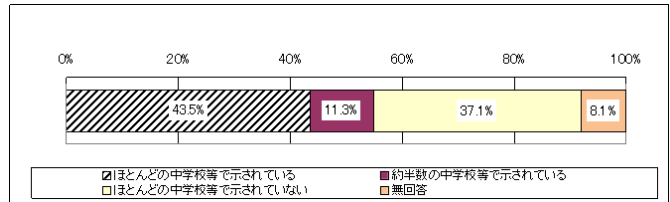
(1) 貴管下幼稚園では、平成30年度の重点事項などに、環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に関する内容が示されていますか。



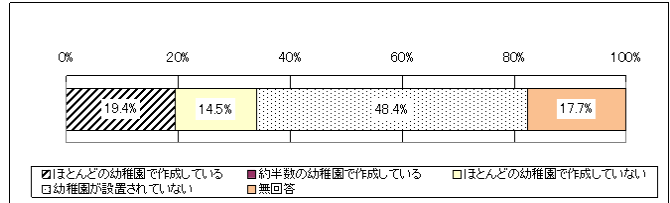
(2) 貴管下小学校等では、平成30年度の重点目標などに、環境教育に関する内容が示されていますか。



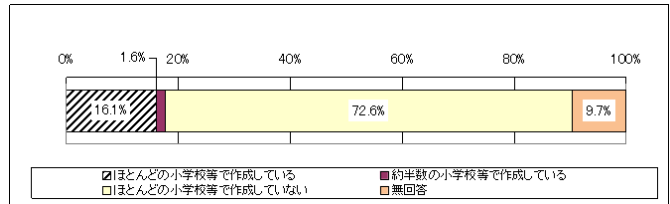
(3) 貴管下中学校等では、平成30年度の重点目標などに、環境教育に関する内容が示されていますか。



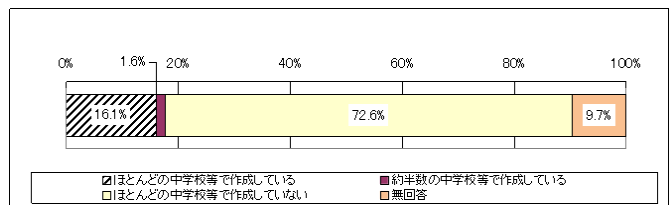
(4) 貴管下幼稚園では、平成30年度の環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）の指導計画を作成していますか。



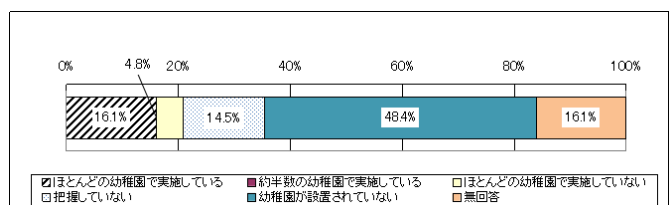
(5) 貴管下小学校等では、平成30年度の環境教育の全体計画を作成していますか。



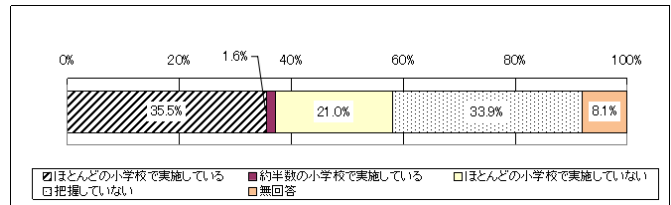
(6) 貴管下中学校等では、平成30年度の環境教育の全体計画を作成していますか。



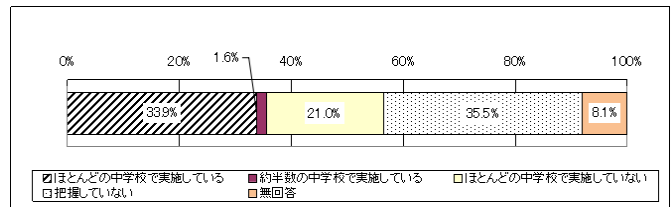
(7) 貴管下幼稚園では、木育（木材を使用した活動など）を実施していますか。



(8) 貴管下小学校等では、木育（木材を使用した活動など）を実施していますか。

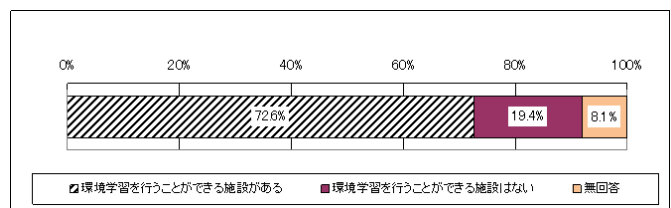


(9) 貴管下中学校等では、木育（木材を使用した活動など）を実施していますか。

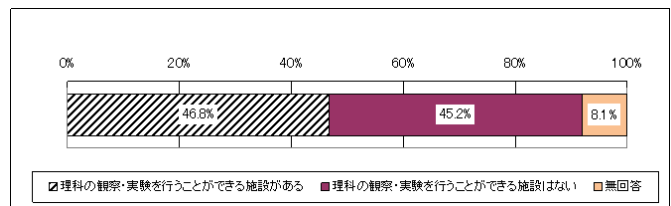


2 環境教育に関わる区市町村教育委員会の施策等について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。

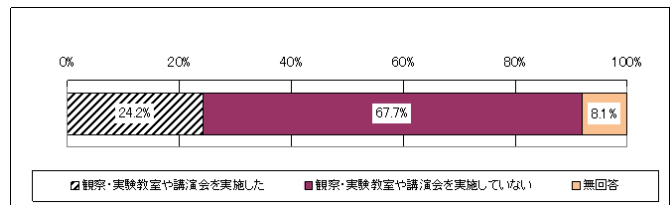
(1) 学校以外に児童・生徒が環境学習を行うことができる区市町村の施設（教育センター、体験学習施設、ビジターセンター、ビオトープ公園、農業公園など）について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



(2) 学校以外に児童・生徒が理科の観察・実験を行うことができる区市町村の施設（教育センター、科学館、博物館、プラネタリウムなど）について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。

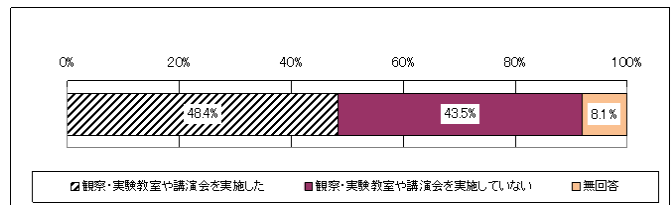


(3) 平成29年度、授業時間内に、区市町村教育委員会が主催した観察・実験教室や講演会について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



※観察・実験教室や講演会・・・児童・生徒を対象とした環境や科学に関する観察・実験教室、又は、科学者や専門家等による講演会

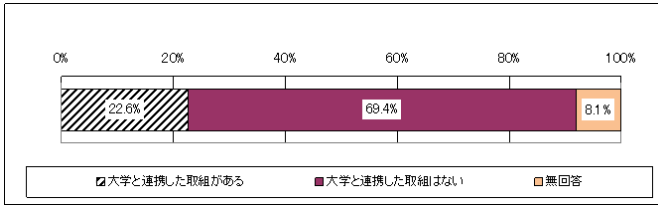
(4) 平成29年度、授業時間外に、区市町村教育委員会が主催した、観察・実験教室や講演会について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



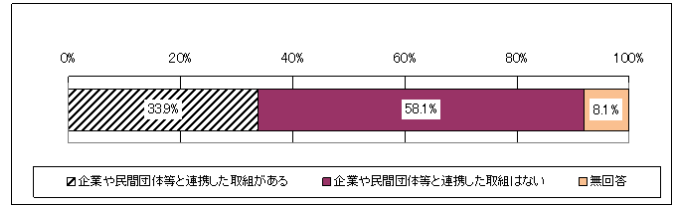
※観察・実験教室や講演会・・・児童・生徒を対象とした環境や科学に関する観察・実験教室、又は、科学者や専門家等による講演会

- (5) 環境教育に関する貴教育委員会と大学や企業等との連携について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。

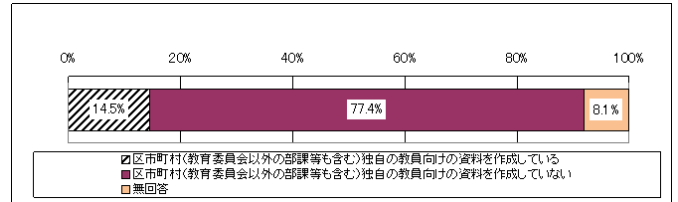
<大学との連携>



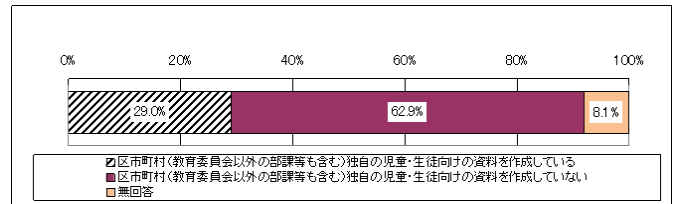
<企業や民間団体等との連携>



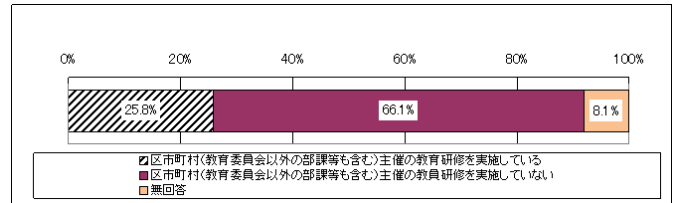
- (6) 環境教育に関する教員向けの資料について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



- (7) 環境教育に関する児童・生徒向けの資料について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。

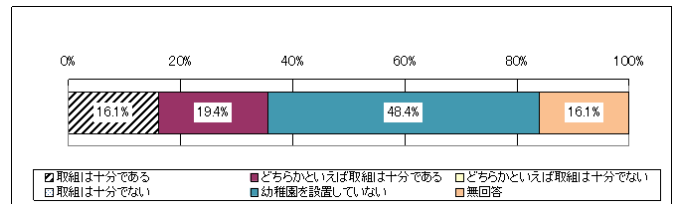


- (8) 環境教育に関する教員研修について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。

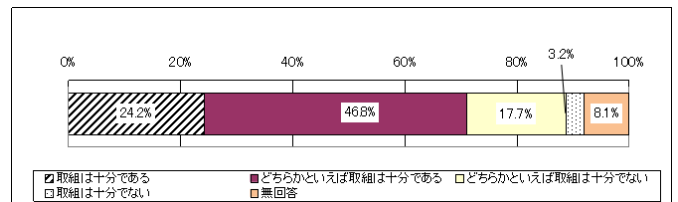


- 3 環境教育に関わる次の各項目について、最も近いと思うものの番号に○を付けてください。

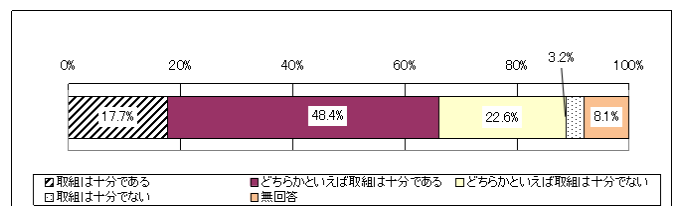
- (1) 貴管下幼稚園における、平成29年度の環境教育(身近な自然や動植物と触れ合う活動)の実施状況をどのように捉えていますか。当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



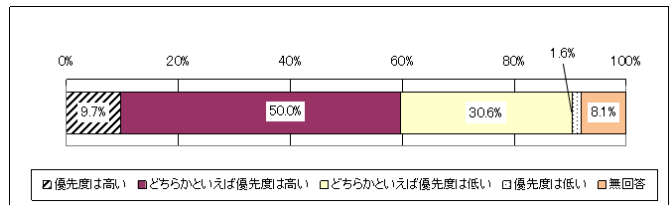
- (2) 貴管下小学校等における、平成29年度の環境教育の実施状況をどのように捉えていますか。当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



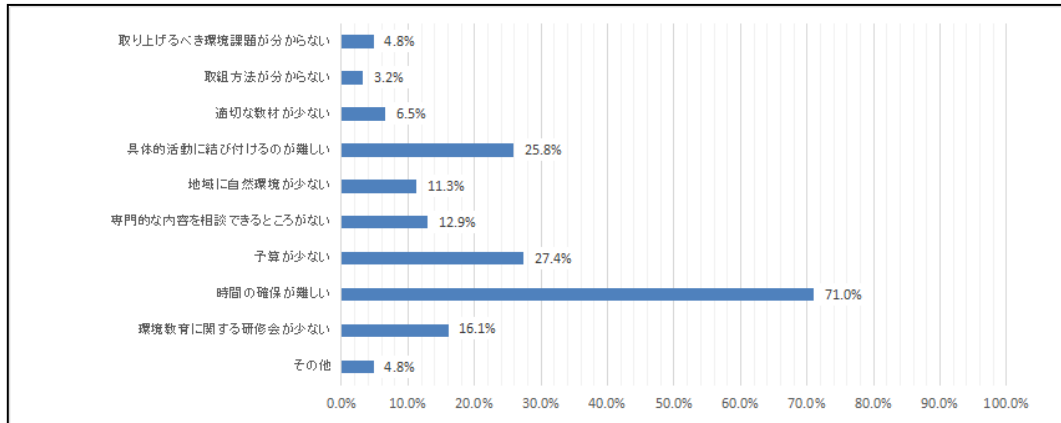
- (3) 貴管下中学校等における、平成29年度の環境教育の実施状況をどのように捉えていますか。当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



(4) 現在の教育課題として、環境教育の優先度について、当てはまるものを一つ選び、()に○を付けてください。



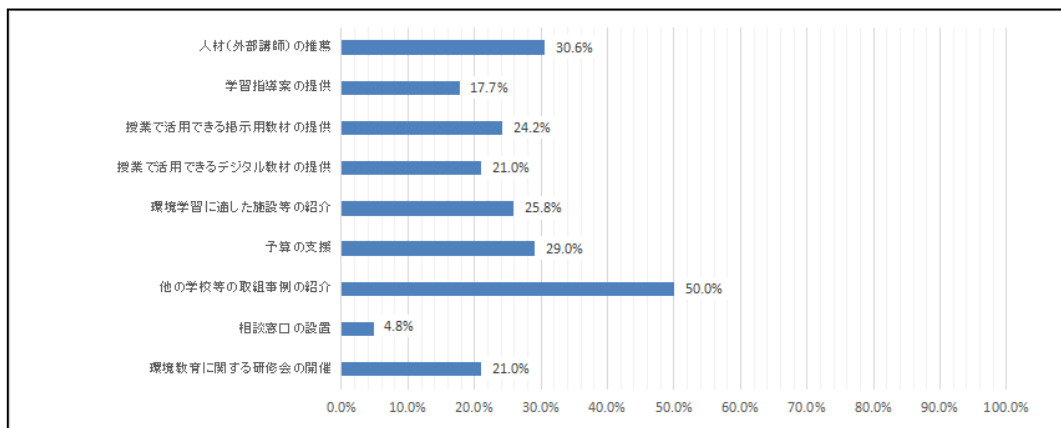
(5) 環境教育に取り組む上での問題点として、当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞



＜その他の回答＞

- ・学校の現状から教育課程上の優先度を他の教育課題より上位にできないため、取り組めていない。
- ・他に優先的に取り上げなければならない教育課題が多い。
- ・外部講師等を呼ぶことが困難。情報も不足している。

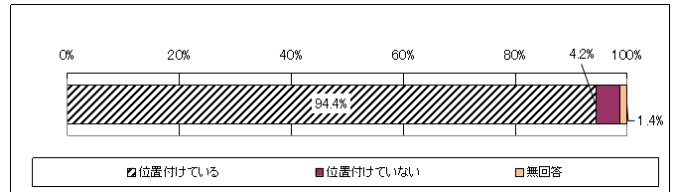
(6) 環境教育に取り組む上で教育委員会等の取組として重視する点について、当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞



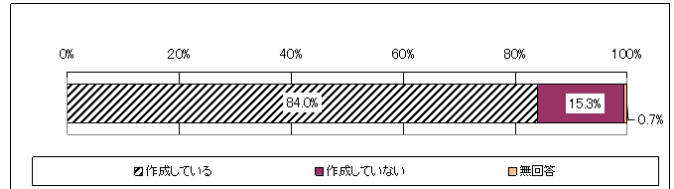
区市立幼稚園・こども園（管理職）

1 身近な自然や動植物と触れ合う活動等に関わる次の各項目について、当てはまるもの一つを選び、() に○を付けてください。

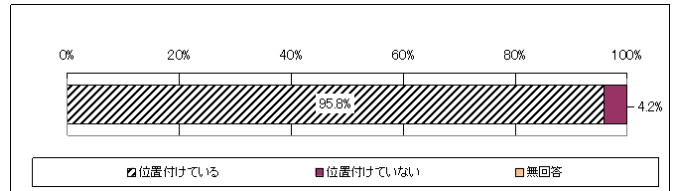
(1) 貴園では、平成30年度の指導の重点事項などに、身近な自然や動植物と触れ合う活動に関する内容を位置付けていますか。



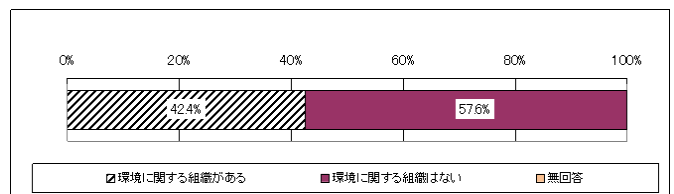
(2) 貴園では、平成30年度の子近な自然や動植物と触れ合う活動に関する指導計画を作成していますか。



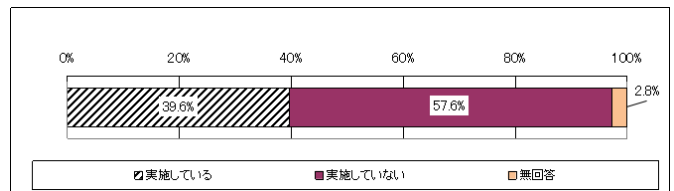
(3) 貴園では、平成30年度の子近な自然や動植物と触れ合う活動に関する担当を位置付けていますか。



(4) 貴園では、平成30年度の子近な地域やPTAと連携して環境に関する組織(牛乳パック・ペットボトルのキャップの回収など)を設置していますか。

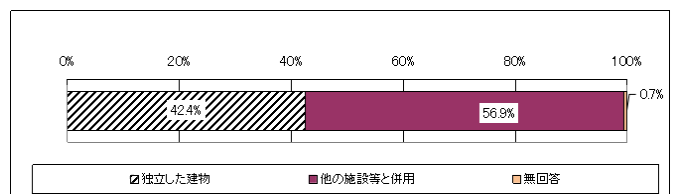


(5) 貴園では、木育(木材を使用した活動など)を実施していますか。

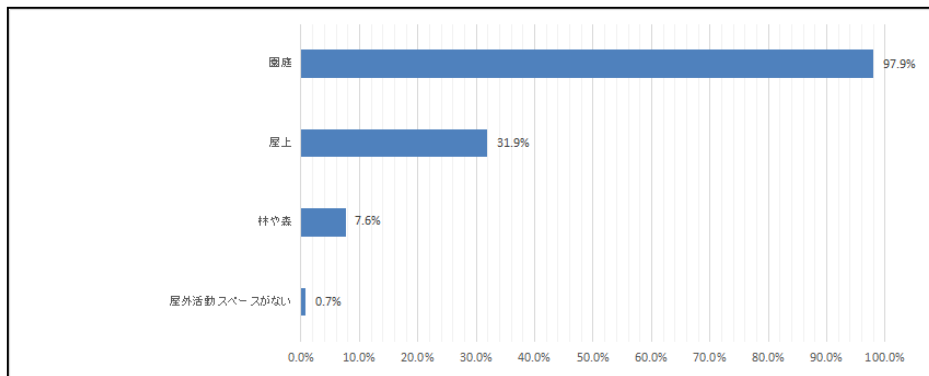


2 教育・保育環境に関わる次の各項目について、当てはまるもの一つを選び、() に○を付けてください。

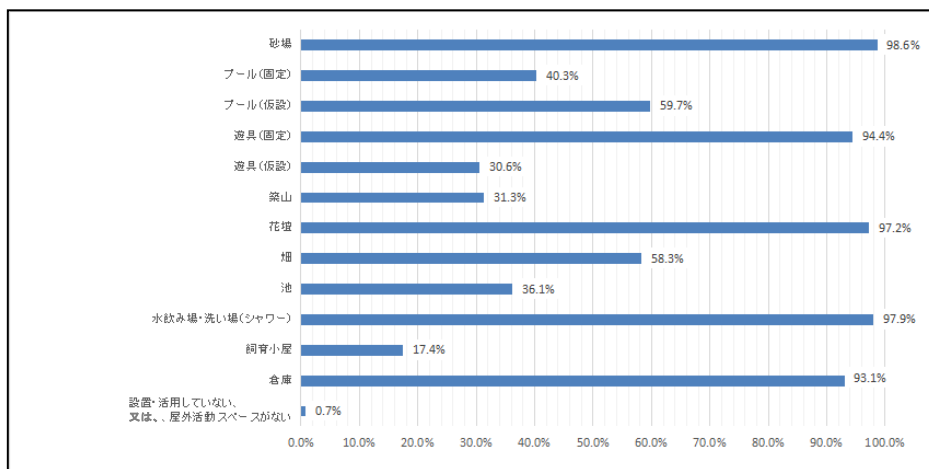
(1) 施設の形態について、当てはまるもの一つを選び、() に○を付けてください。



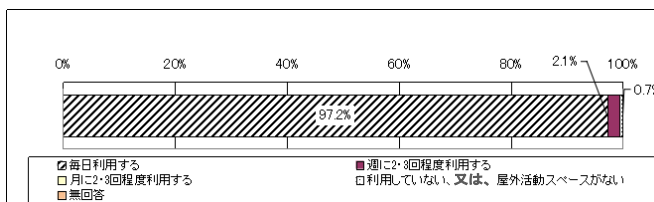
(2) 敷地内にある屋外活動スペースには、どのような場所（園庭など）がありますか。当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



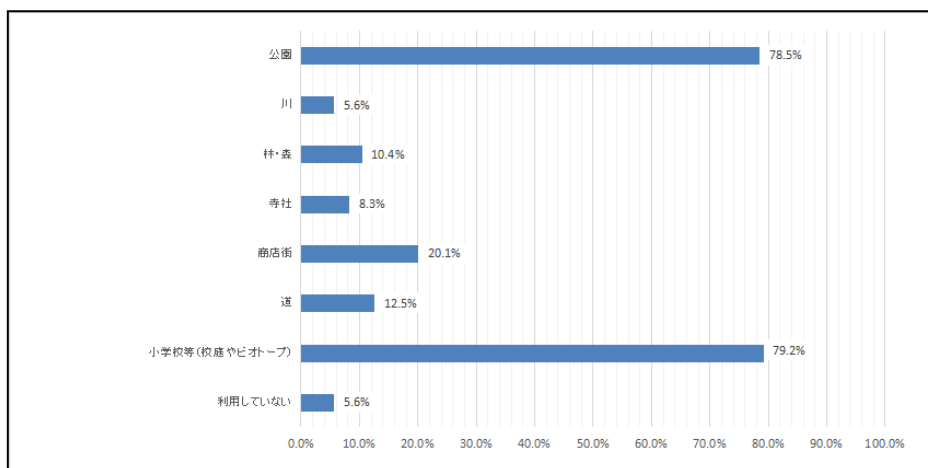
(3) 敷地内に設置している又は活用しているものについて、当てはまるものを選び () に○を付けてください。＜複数選択可＞



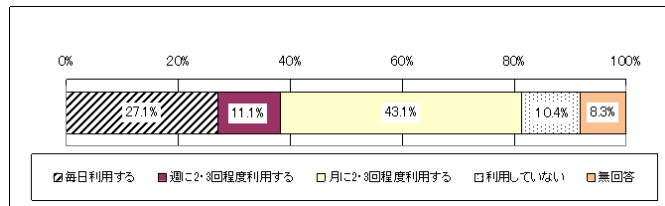
(4) 敷地内にある屋外活動スペースの利用頻度として、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



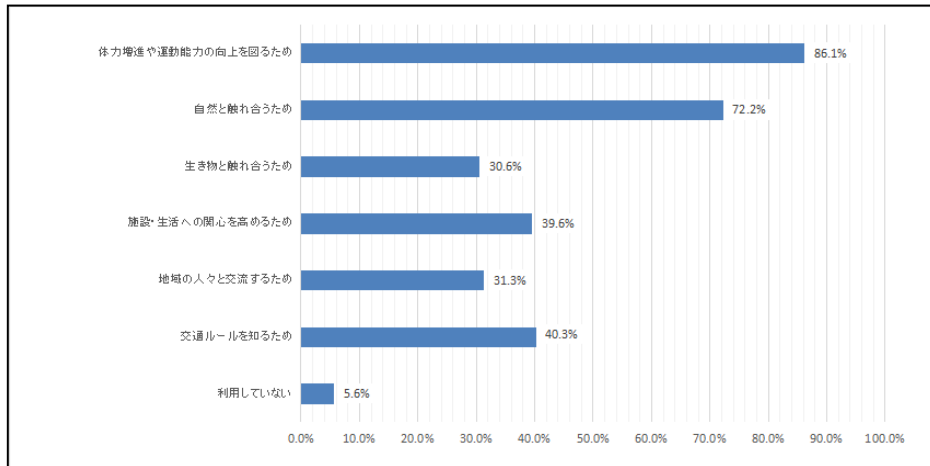
(5) 敷地外にある施設の中で、活動スペースとして利用している場所（公園など）について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



(6) (5)で選択した場所の中で最も利用頻度が高いものについて、当てはまるものを一つ選び、()に○を付けてください。



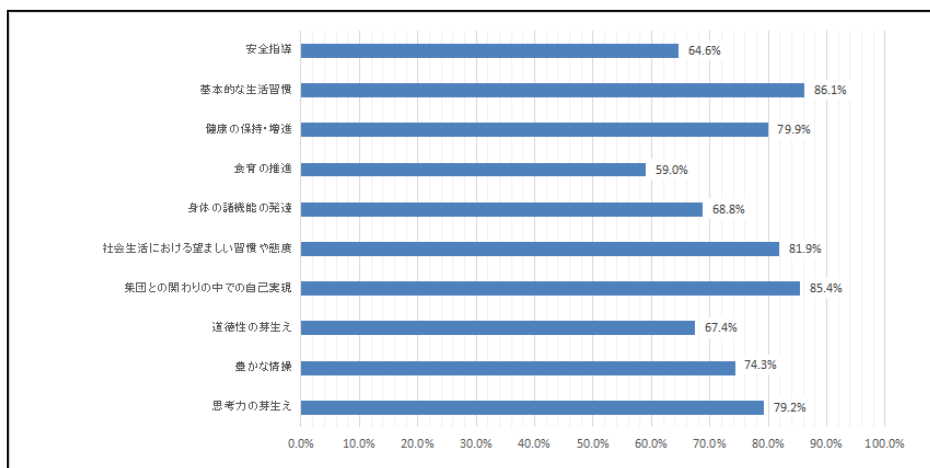
(7) (5)で選択した場所を利用する目的として、当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞



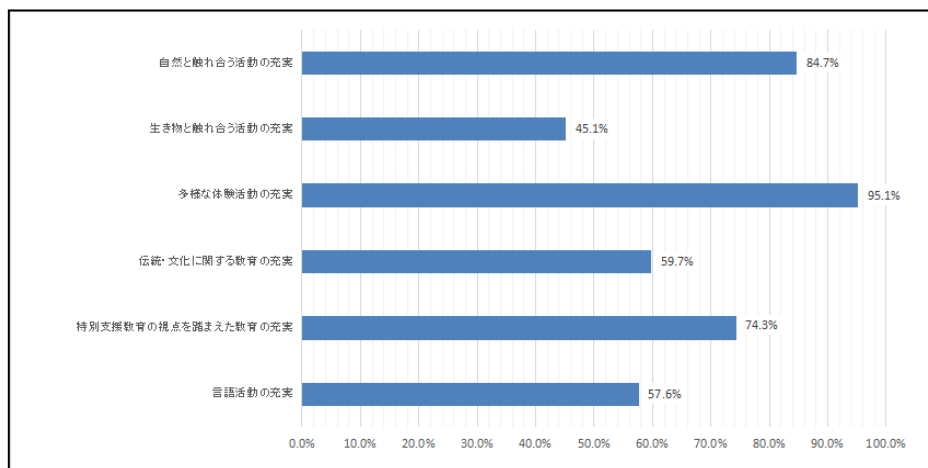
③ 教育課程を編成する上で重視する内容について、当てはまるものを選び、()に○を付けてください。

(1) 平成30年度の教育課程を編成する上で、重視した内容として当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞

【子どもの資質・能力に関すること】

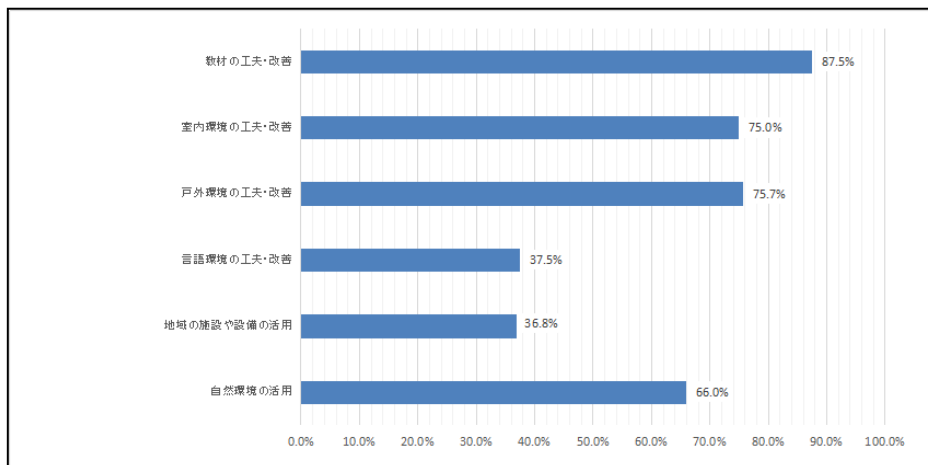


【教師・指導者の意図に関すること】

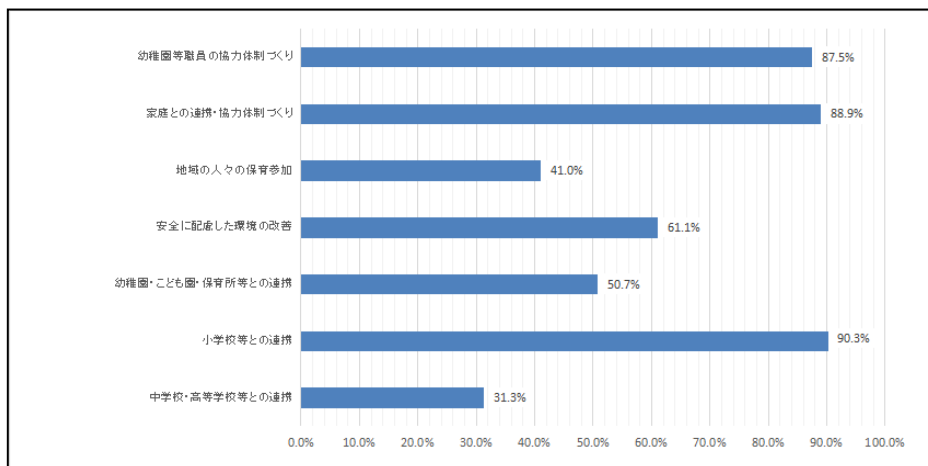


(2) 平成30年度の園内活動を充実させる上で、重視した内容として当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

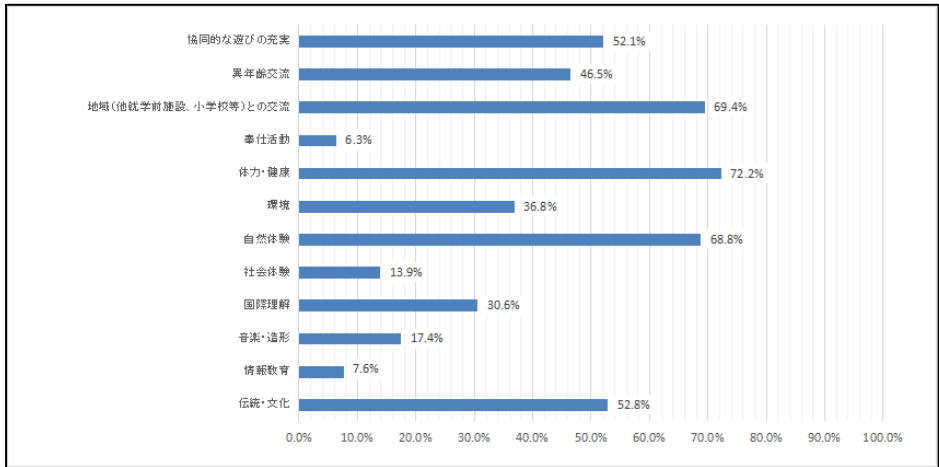
【保育の工夫・改善に関すること】



【園内の体制・関係機関との連携に関すること】

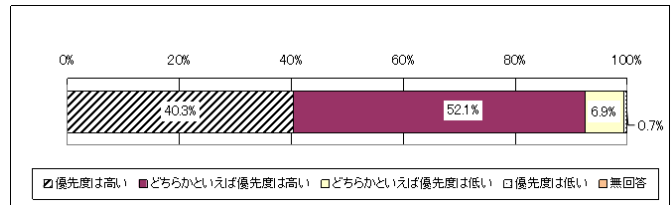


(3) 平成30年度の特色ある園づくりのために、重視した内容として当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞

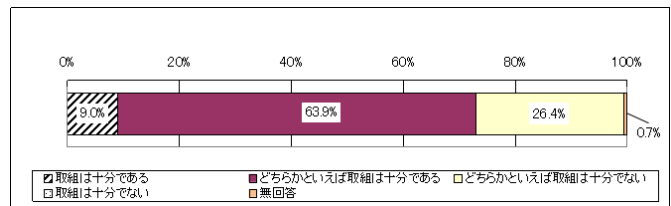


4 身近な自然や動植物と触れ合う活動に関わる次の各項目について、一番近いと思うものの番号に○を付けてください。

(1) 現在の教育課題として、貴園における身近な自然や動植物と触れ合う活動の優先度はどの程度だと捉えていますか。当てはまるものを一つ選び、()に○を付けてください。

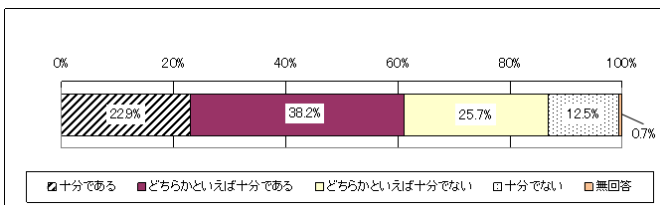


(2) 貴園における身近な自然や動植物と触れ合う活動に関する取組状況について、どのように捉えていますか。当てはまるものを一つ選び、()に○を付けてください。

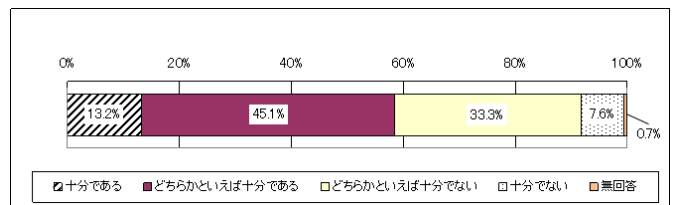


(3) 貴園における敷地内の屋外活動環境について、どのように捉えていますか。当てはまるものをそれぞれ一つ選び、()に○を付けてください。

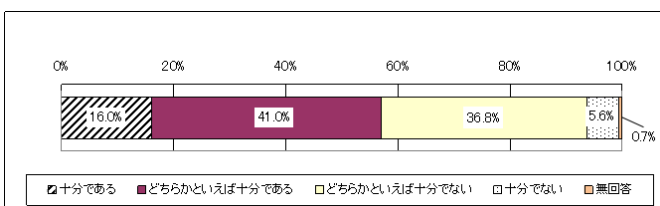
【広さについて】



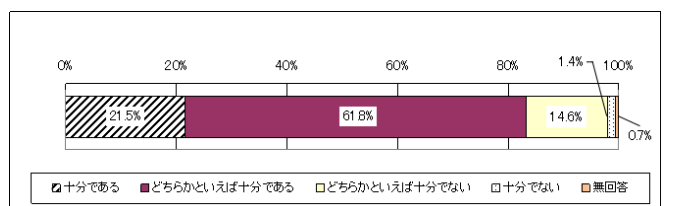
【遊具・設備について】



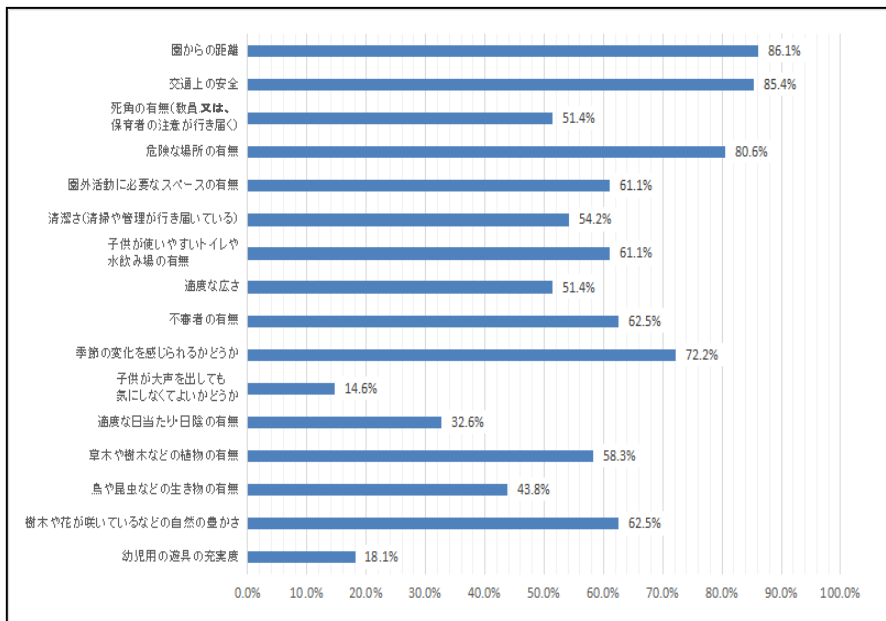
【自然環境について】



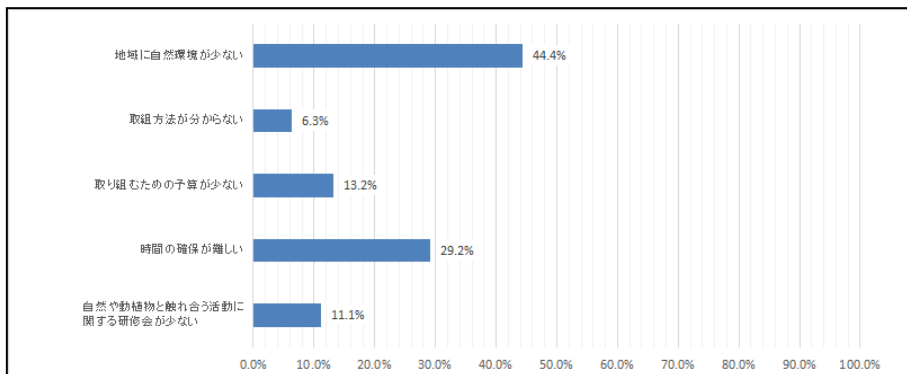
【安全性について】



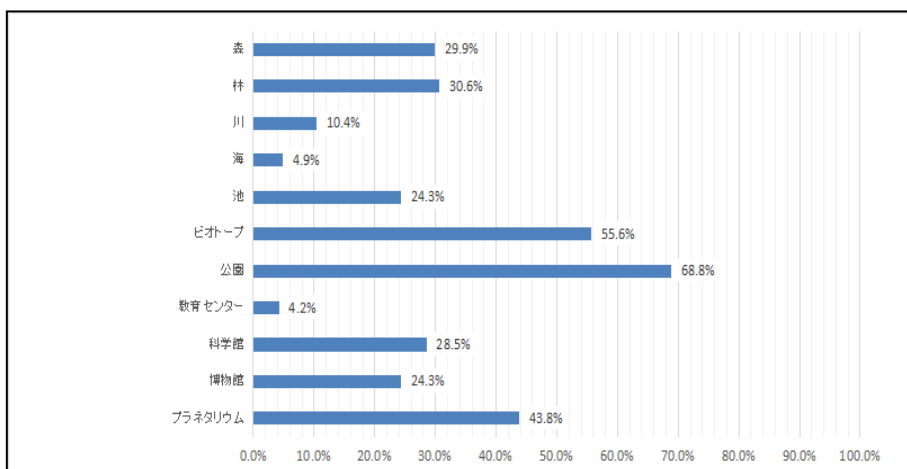
(4) 敷地外にある施設・屋外活動スペース（公園など）を利用する際に重視する点について、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



(5) 身近な自然や動植物と触れ合う活動に取り組む上での問題点として、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



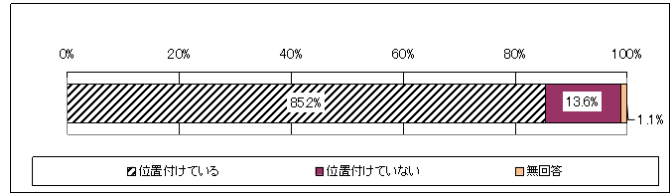
(6) 今後、身近な自然や動植物と触れ合う活動を推進する上で活用したい自然環境や施設について、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



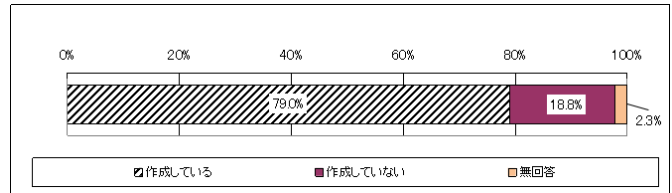
区市町村立保育所等（管理職）

1 身近な自然や動植物と触れ合う活動等に関わる次の各項目について、当てはまるものを1つ選び、() に○を付けてください。

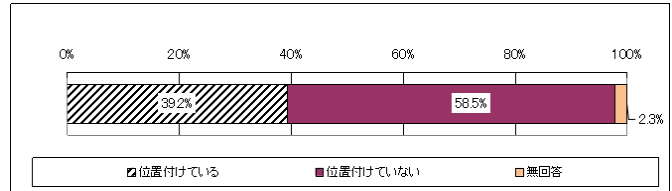
(1) 貴保育所では、平成30年度の保育の重点事項などに、身近な自然や動植物と触れ合う活動に関する内容を位置付けていますか。



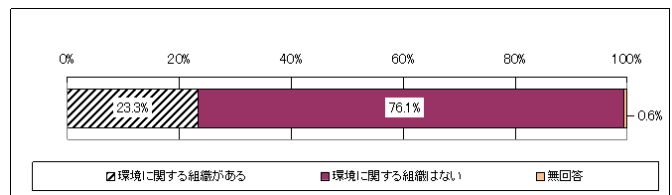
(2) 貴保育所では、平成30年度の子近な自然や動植物と触れ合う活動に関する保育計画を作成していますか。



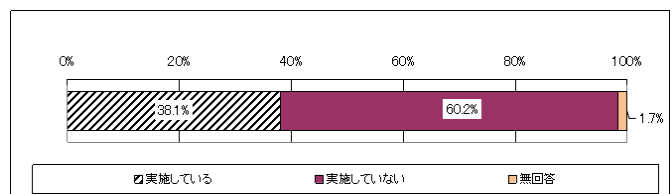
(3) 貴保育所では、平成30年度の組織に身近な自然や動植物と触れ合う活動に関する担当を位置付けていますか。



(4) 貴保育所では、平成30年度の地域やPTAと連携して環境に関する組織（牛乳パック・ペットボトルのキャップの回収など）を設置していますか。

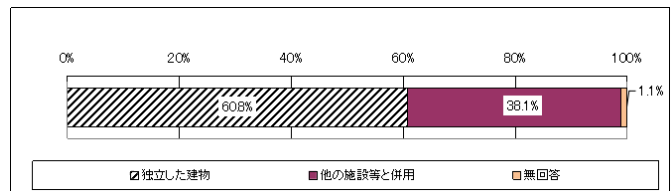


(5) 貴保育所では、木育（木材を使用した活動など）を実施していますか。

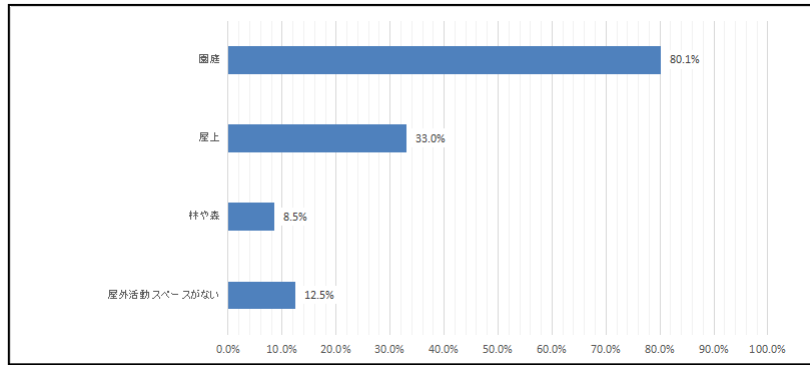


2 教育・保育環境に関わる次の各項目について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。

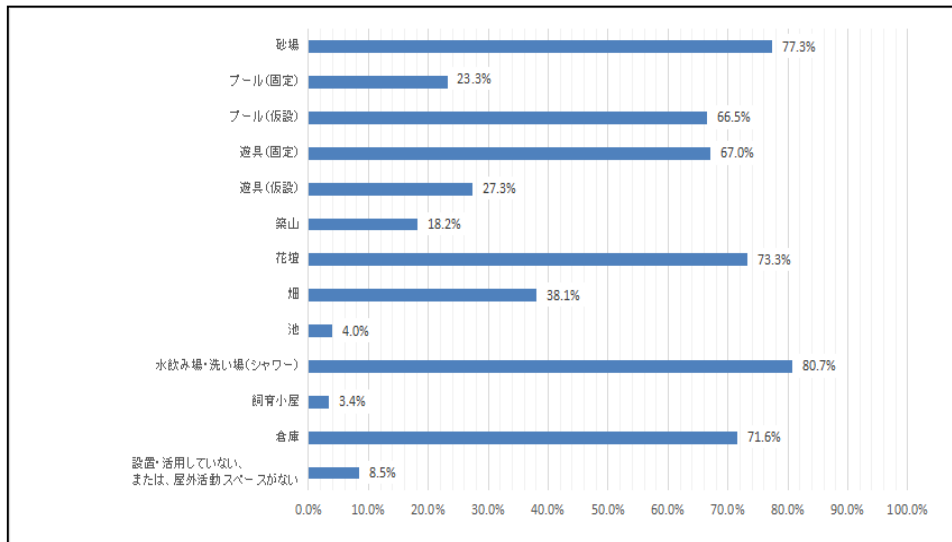
(1) 施設の形態について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



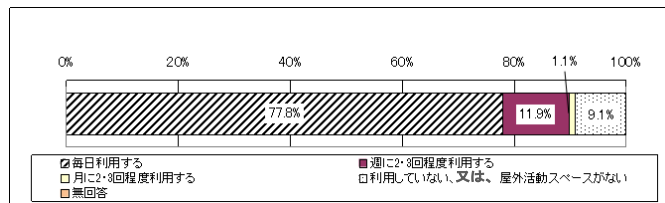
- (2) 敷地内にある屋外活動スペースには、どのような場所（園庭など）がありますか。当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



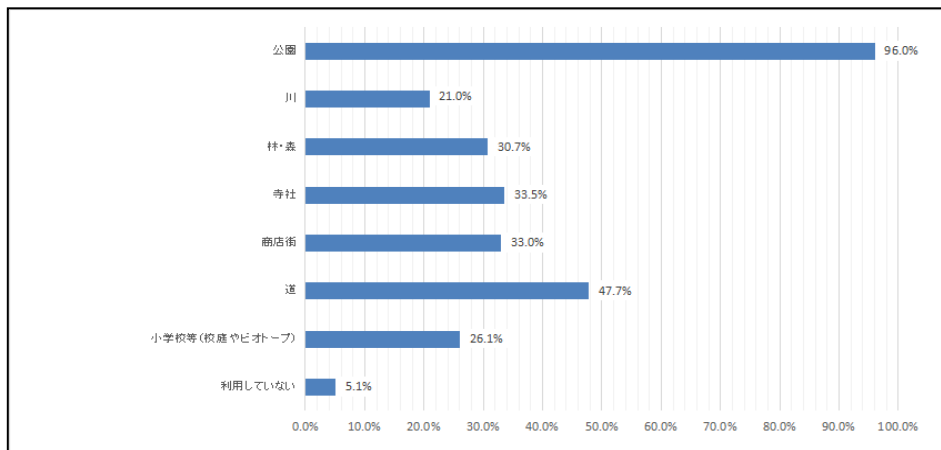
- (3) 敷地内に設置している又は活用しているものについて、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



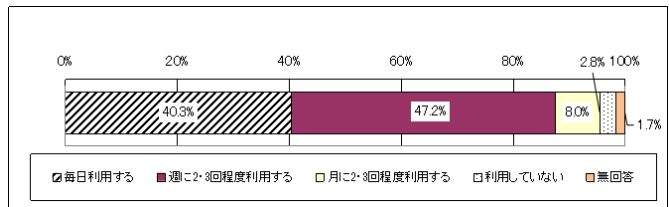
- (4) 敷地内にある屋外活動スペースの利用頻度として、当てはまるものを一つ選び、（ ）に○を付けてください。



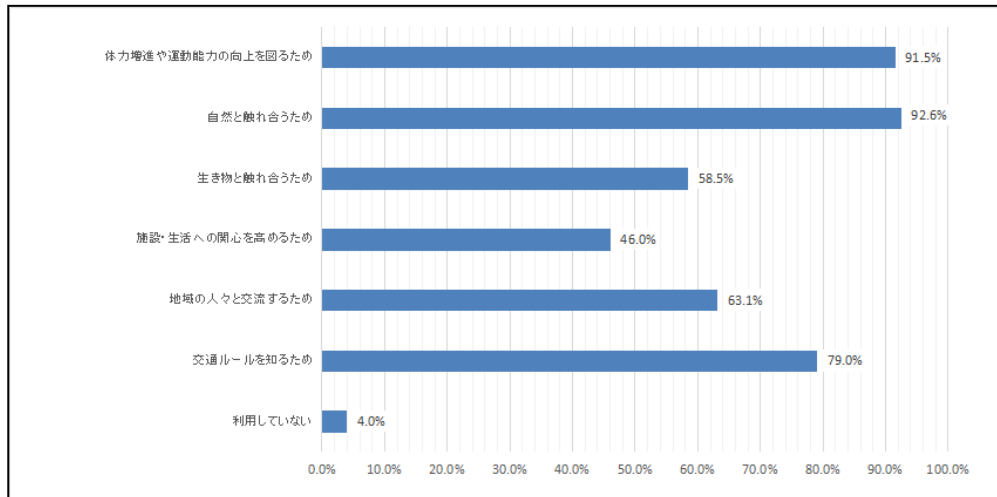
- (5) 敷地外にある施設の中で、活動スペースとして利用している場所（公園など）について、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



(6) (5)で選択した場所の中で最も利用頻度が高いものについて、当てはまるもの一つを選び、()に○を付けてください。



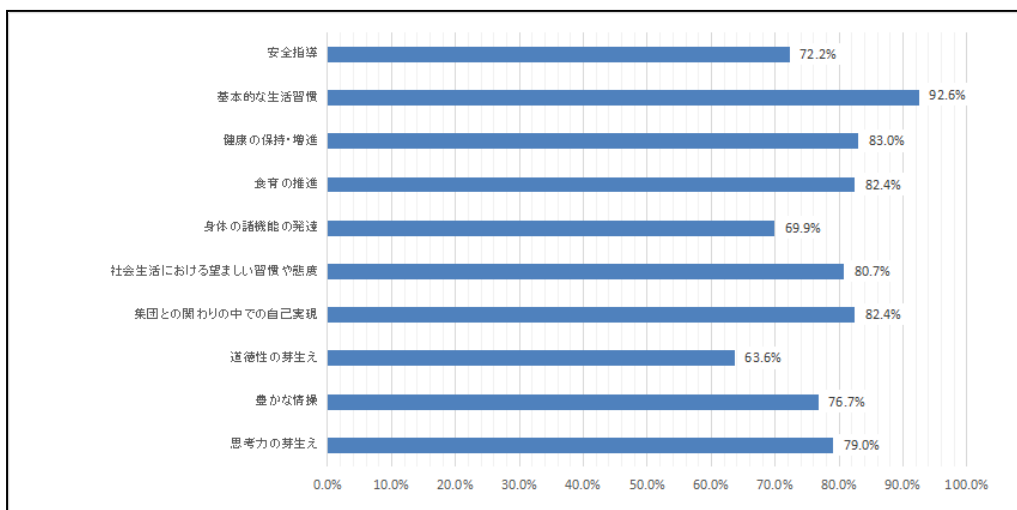
(7) (5)で選択した場所を利用する目的として、当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞



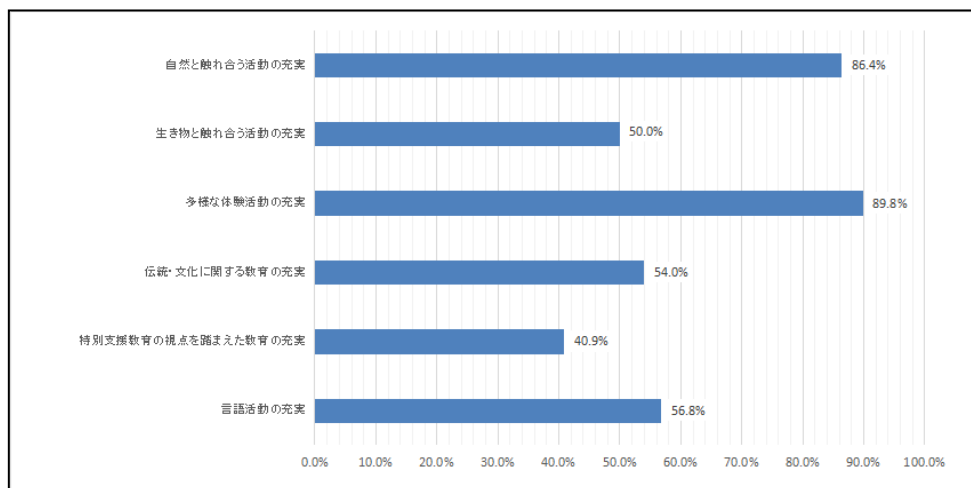
③ 保育内容を計画する上で重視する内容について、当てはまるものを選び、()に○を付けてください。

(1) 平成30年度の保育内容を計画する上で、重視した内容として当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞

【子どもの資質・能力に関すること】

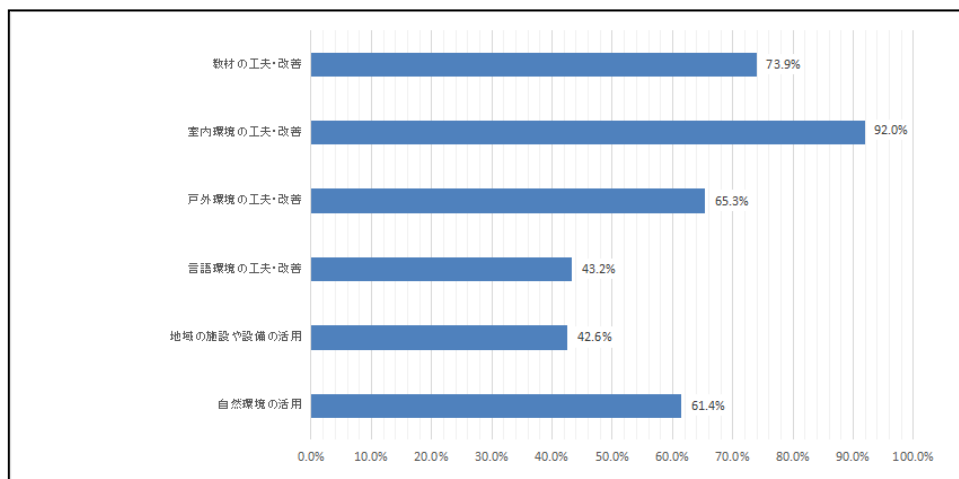


【保育者の意図に関すること】

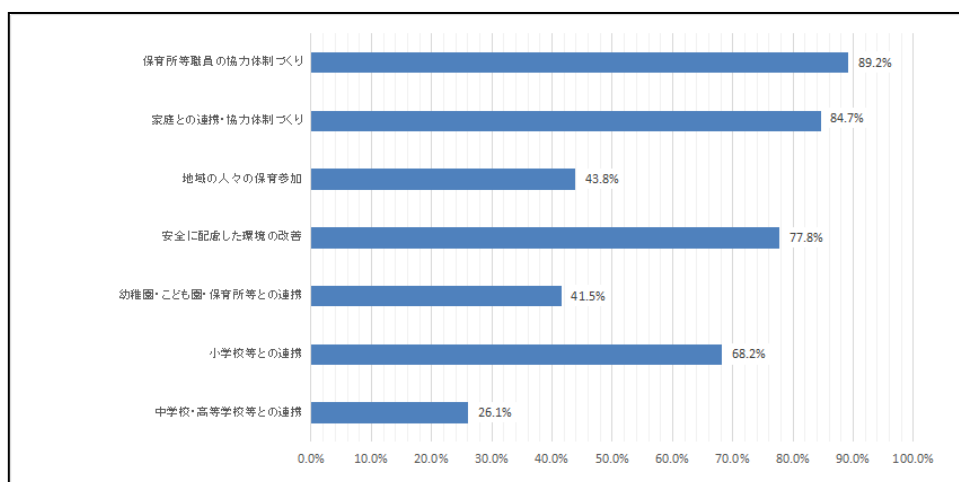


- (2) 平成30年度の保育内容を充実させる上で、重視した内容として当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

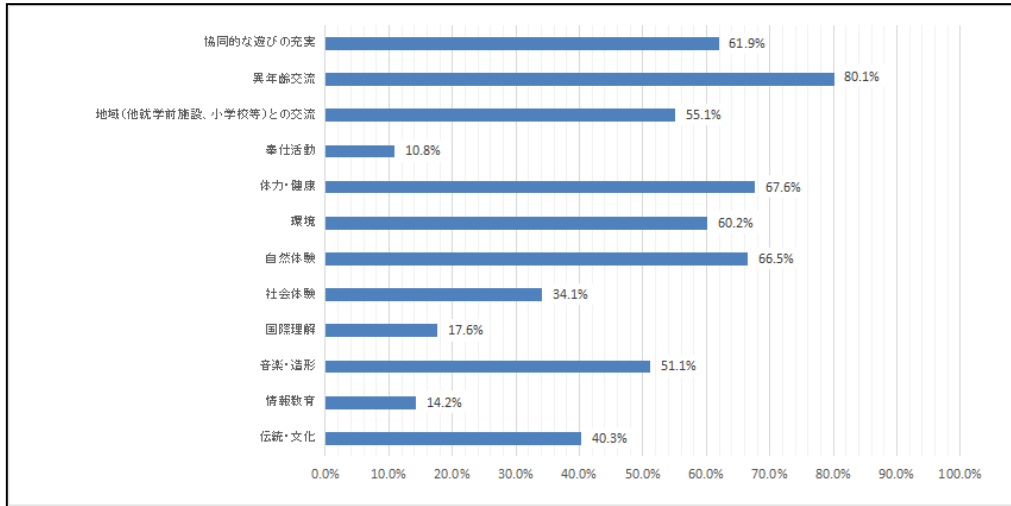
【保育の工夫・改善に関すること】



【園内の体制・関係機関との連携に関すること】

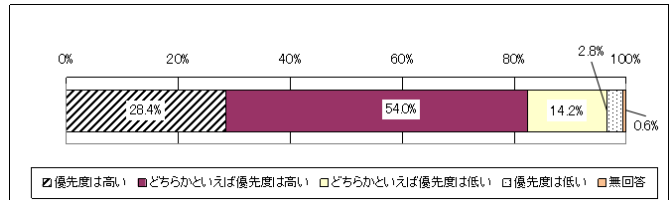


(3) 平成30年度の特色ある保育所づくりのために、重視した内容として当てはまるものを選び、()に○を付けてください。＜複数選択可＞

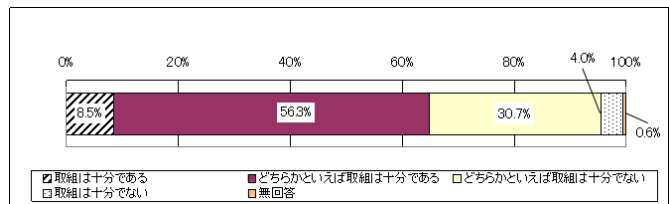


4 身近な自然や動植物と触れ合う活動に関わる次の各項目について、一番近いと思うものの番号に○を付けてください。

(1) 現在の教育課題として、貴保育所における身近な自然や動植物と触れ合う活動の優先度はどの程度だと捉えていますか。当てはまるものを一つ選び、()に○を付けてください。

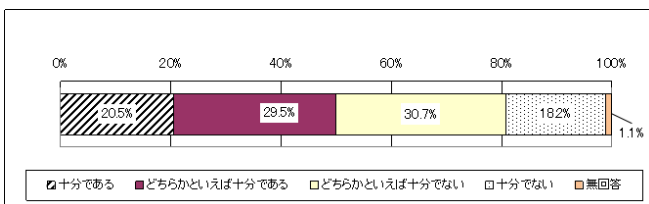


(2) 貴保育所における身近な自然や動植物と触れ合う活動に関する取組状況について、どのように捉えていますか。当てはまるものを一つ選び、()に○を付けてください。

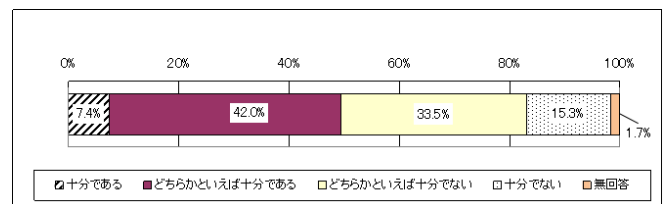


(3) 貴保育所における敷地内の屋外活動環境について、どのように捉えていますか。当てはまるものをそれぞれ一つ選び、()に○を付けてください。

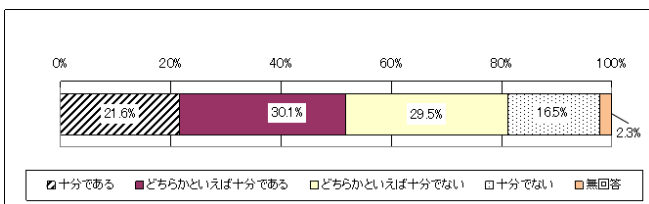
【広さについて】



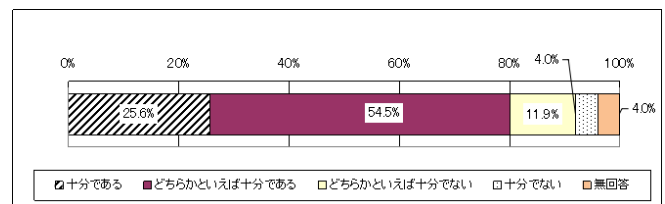
【遊具・設備について】



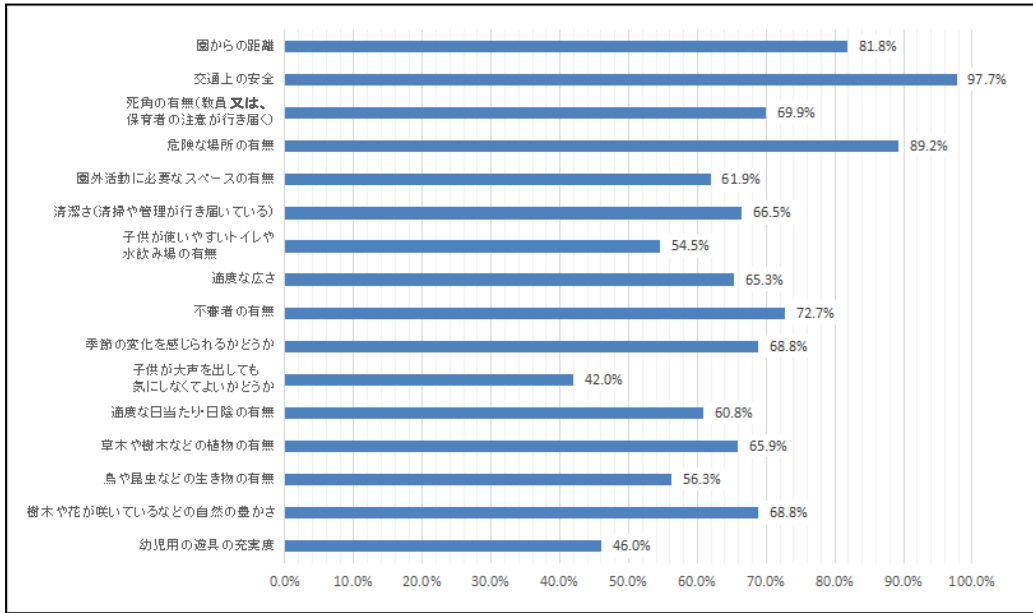
【自然環境について】



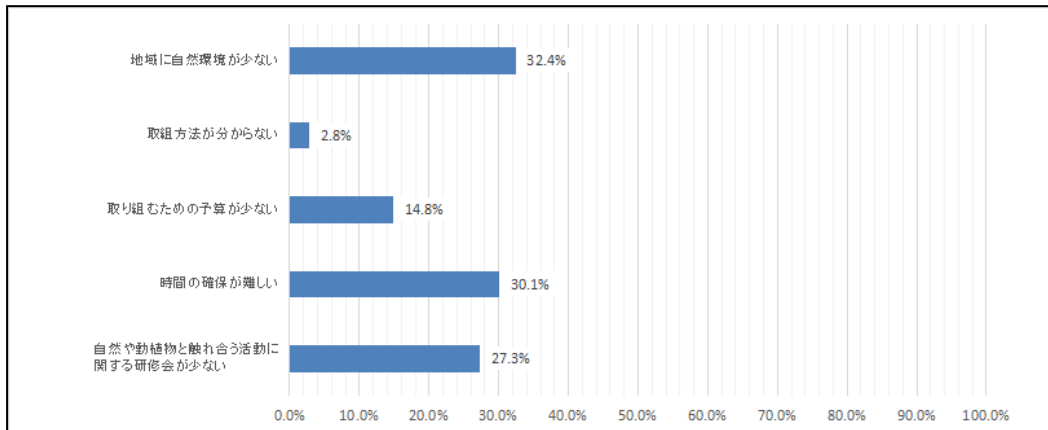
【安全性について】



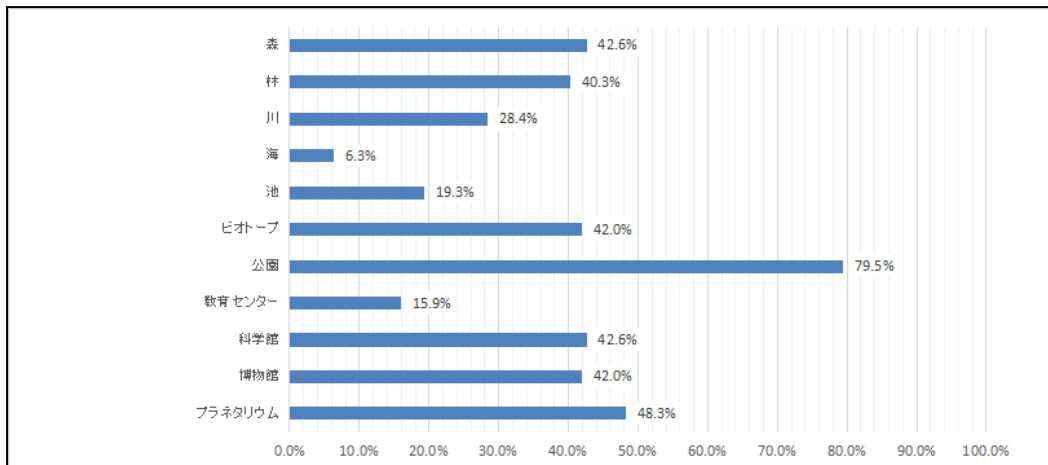
- (4) 敷地外にある施設・屋外活動スペース（公園など）を利用する際に重視する点について、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



- (5) 身近な自然や動植物と触れ合う活動に取り組む上での問題点として、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



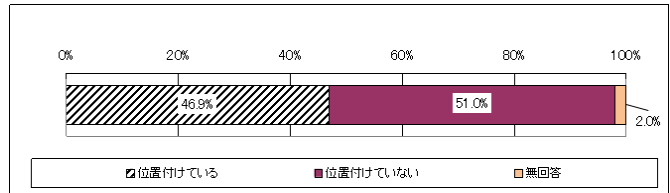
- (6) 今後、身近な自然や動植物と触れ合う活動を推進する上で活用したい自然環境や施設について、当てはまるものを選び、（ ）に○を付けてください。＜複数選択可＞



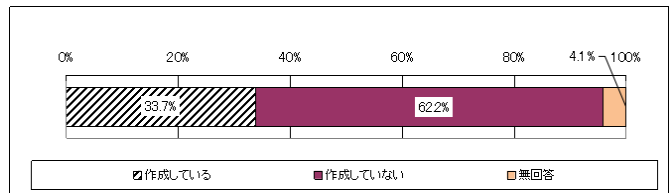
区市町村立小学校（管理職）

1 環境教育に関わる次の各項目について、当てはまるものを一つ選び、（ ）に○を付けてください。

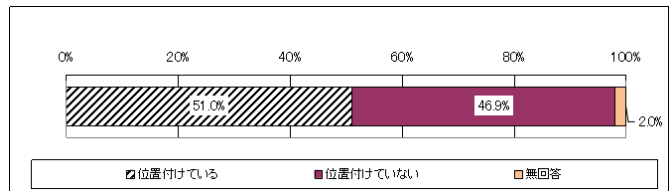
(1) 貴校では、平成30年度の重点目標などに、環境教育に関する内容を位置付けていますか。



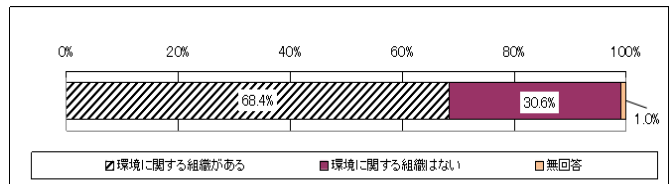
(2) 貴校では、平成30年度の環境教育の全体計画を作成していますか。



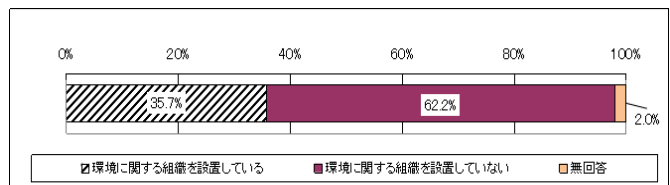
(3) 貴校では、平成30年度の校務分掌に環境教育担当を位置付けていますか。



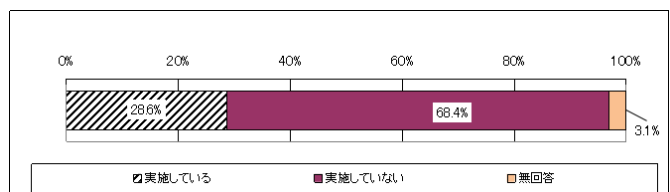
(4) 貴校では、平成30年度の児童会に環境に関する組織（環境委員会等）はありますか。



(5) 貴校では、平成30年度の地域やPTAと連携して環境に関する組織（環境委員会等）を設置していますか。

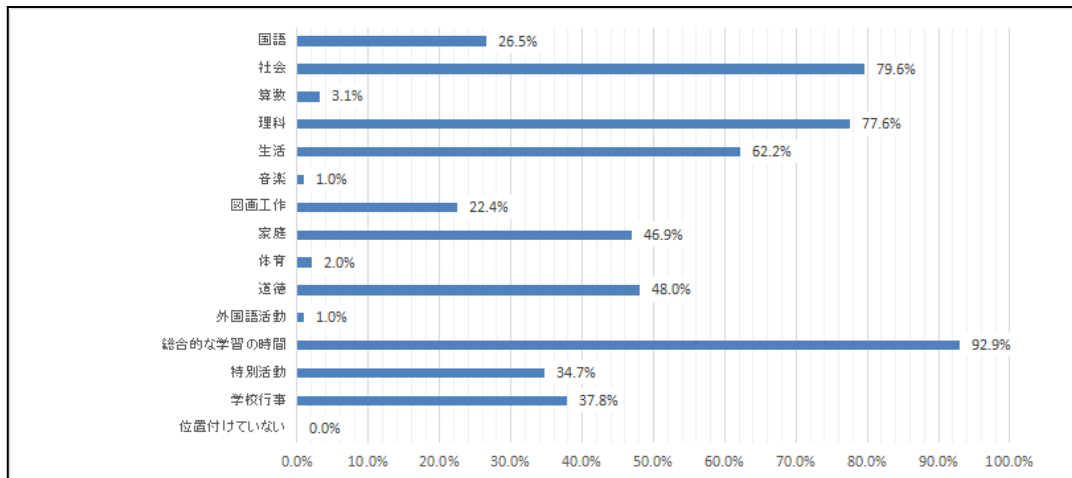


(6) 貴校では、木育（木材を使用した活動など）を実施していますか。



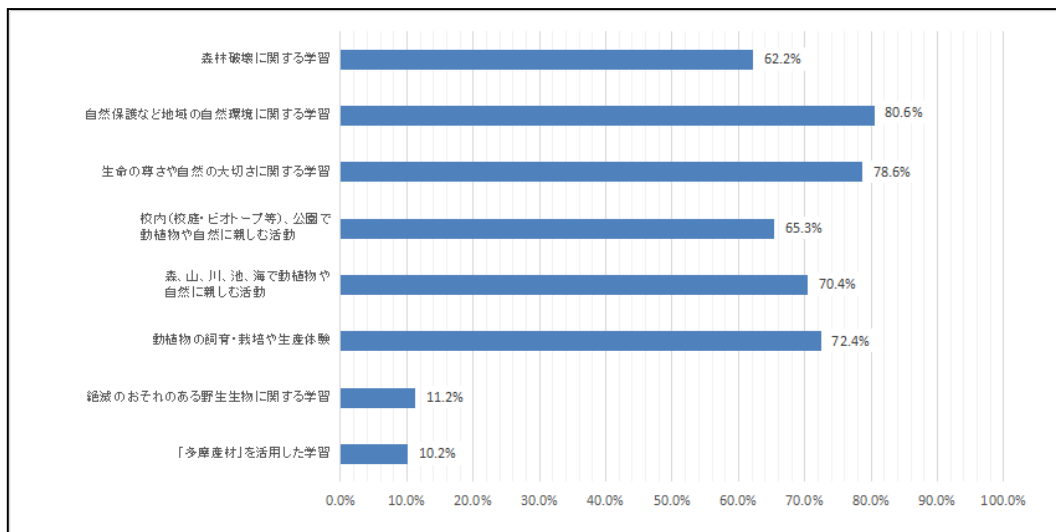
2 環境教育に関わる次の各項目について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。

(1) 貴校では、平成29年度の教育課程において、環境教育をどのように位置付けて実施しましたか。＜複数選択可＞

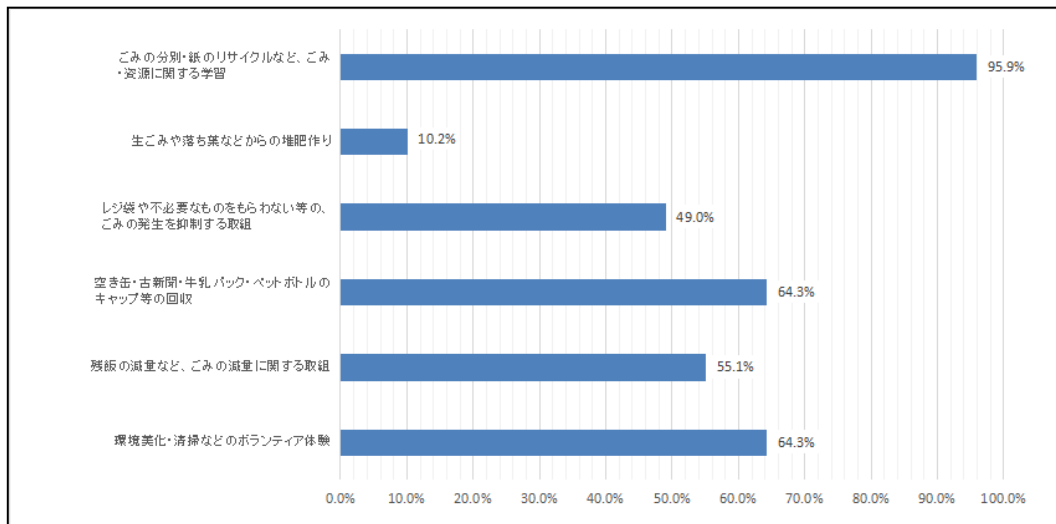


(2) 貴校では、平成29年度の環境教育において、どのような学習や取組をしましたか。実施した学習や取組として当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

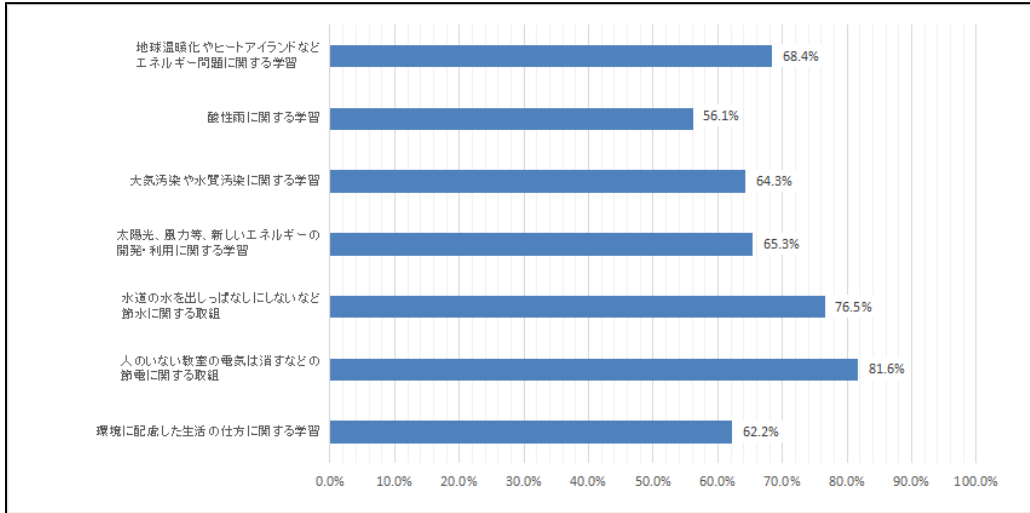
【自然・生命に関する内容】



【ごみ・資源に関する内容】

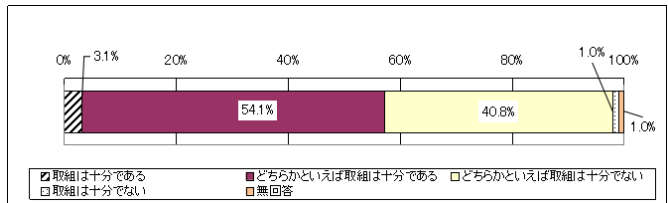


【エネルギー・地球温暖化に関する内容】

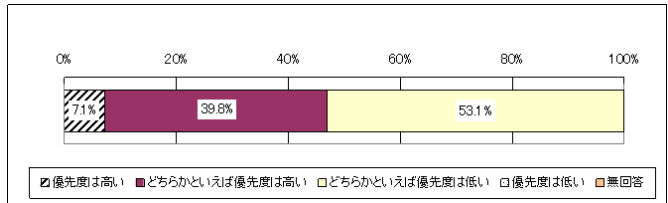


③ 環境教育に関わる次の各項目について、最も近いと思うものの番号に○を付けてください。

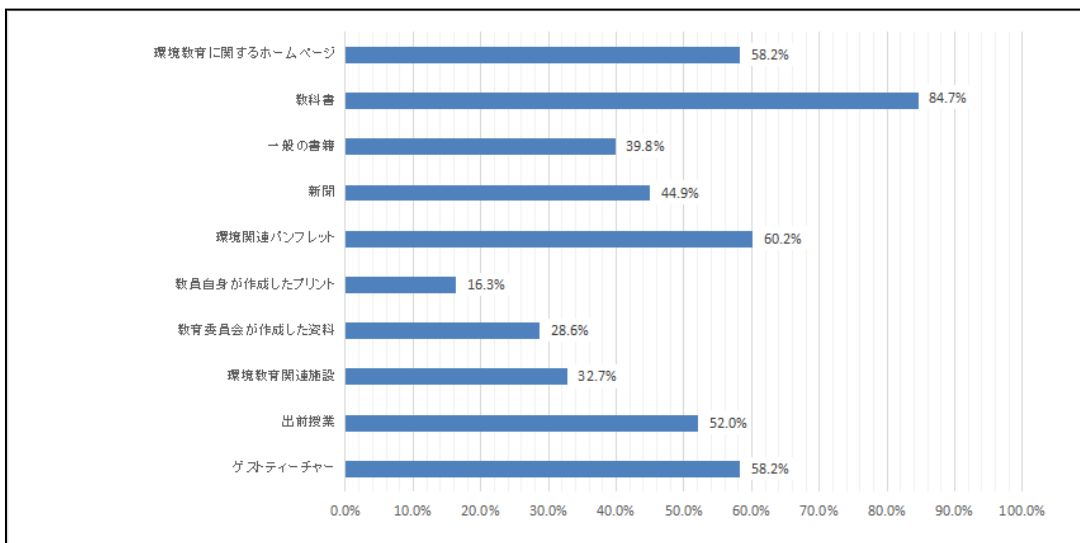
(1) 貴校における、平成29年度の環境教育の実施状況について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



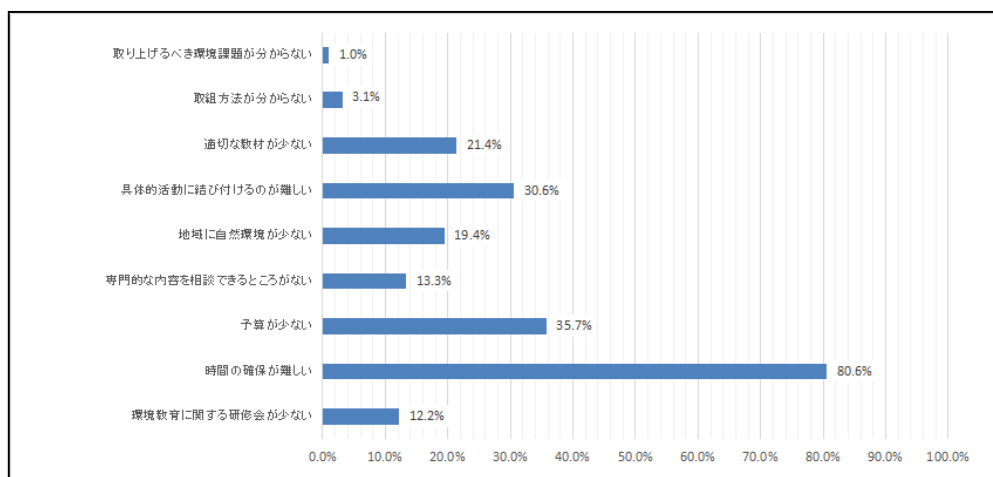
(2) 現在の教育課題として、貴校における環境教育の優先度について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



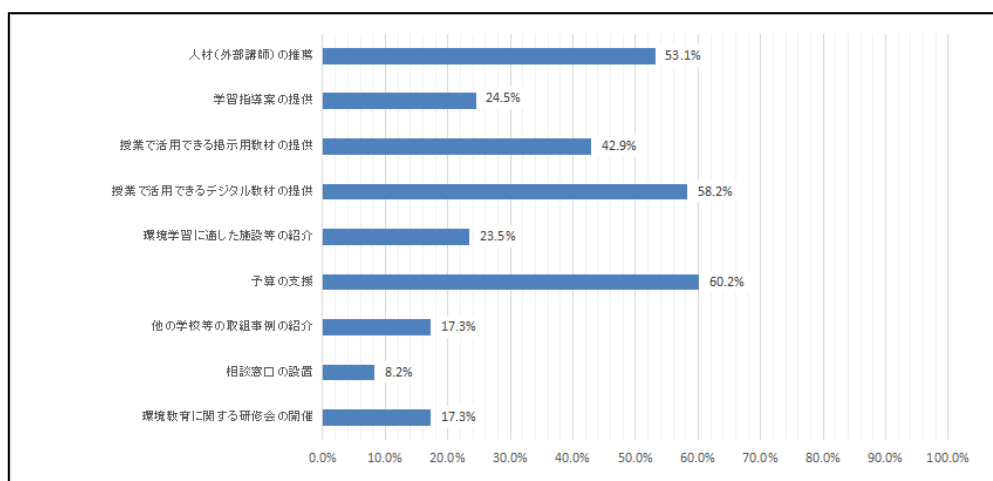
(3) 環境教育に取り組む上での情報源又は活用しているものについて、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



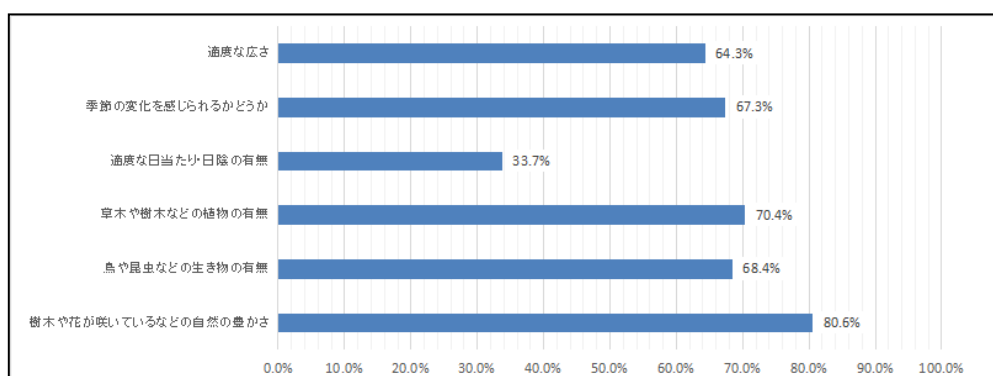
(4) 環境教育に取り組む上での問題点として、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



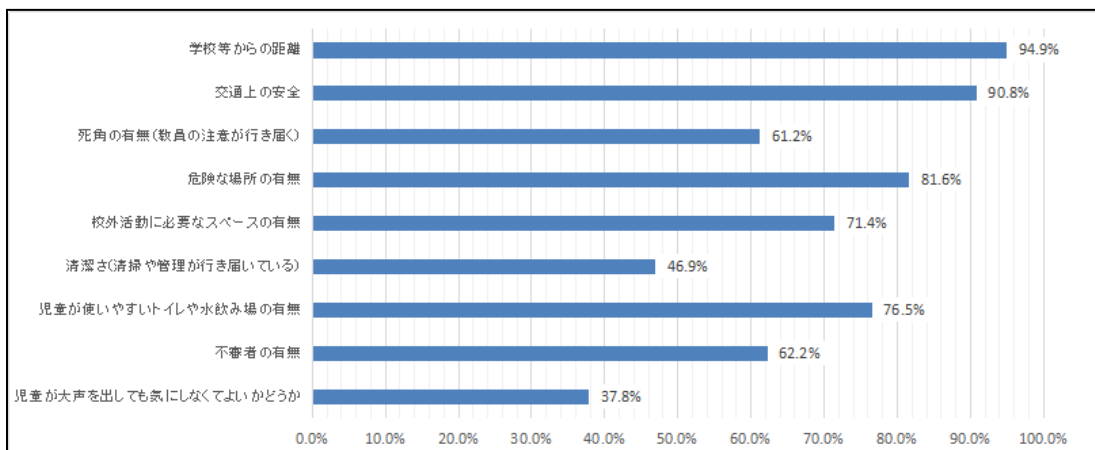
(5) 環境教育に取り組む上で教育委員会等に期待することとして、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



(6) 校外の公園等で環境教育の活動を行う上で重視する点について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

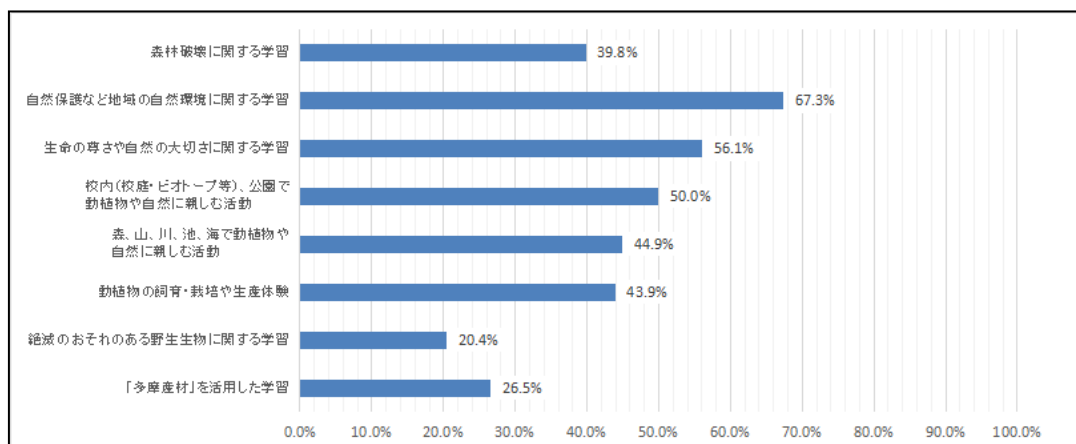


(7) 公園等で校外学習を行う上で重視する点について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

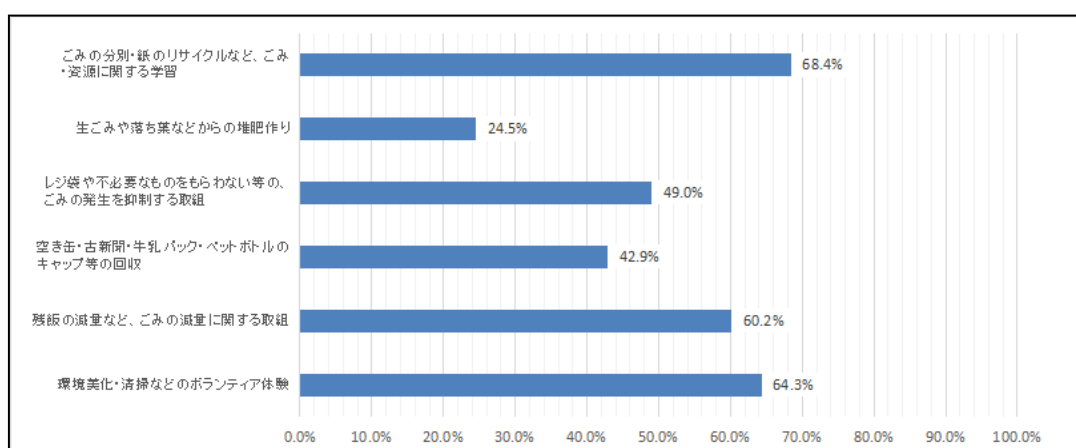


(8) 今後、実施したい環境教育の取組として当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

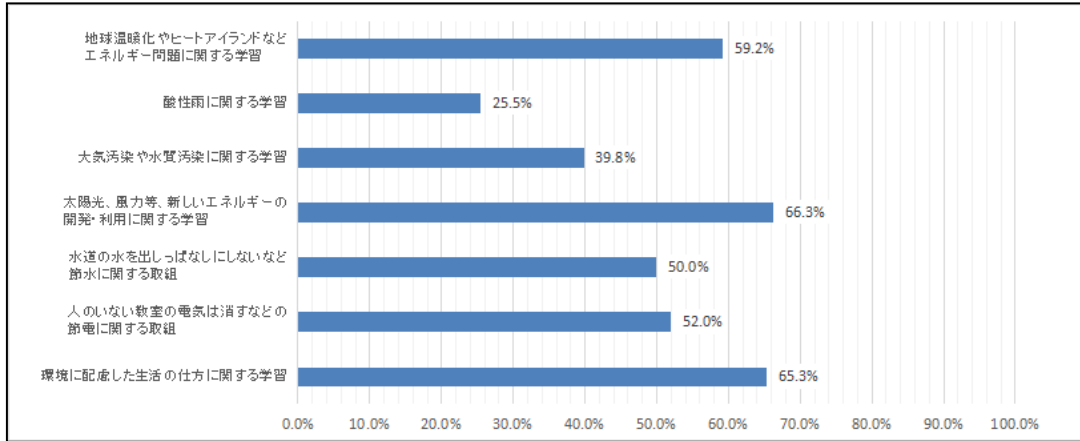
【自然・生命に関する内容】



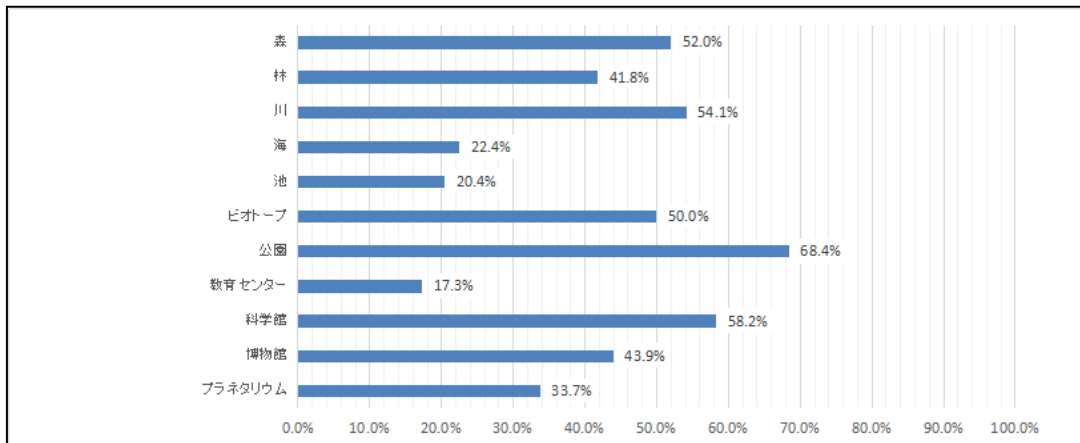
【ごみ・資源に関する内容】



【エネルギー・地球温暖化に関する内容】

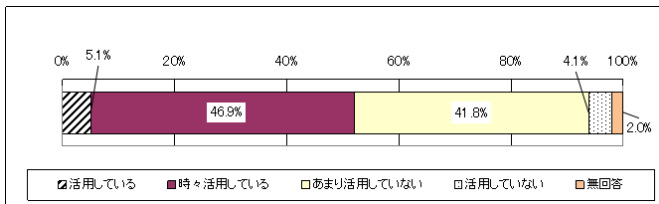


(9) 今後、環境教育を推進する上で活用したい自然環境や施設について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

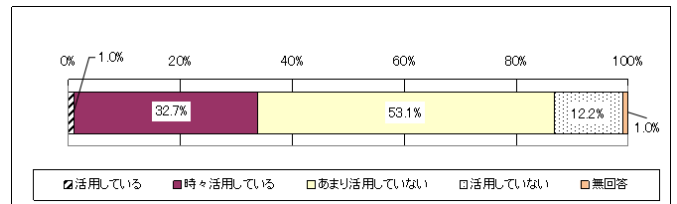


4 東京都教育委員会が作成した作成物の活用状況について、それぞれ当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。

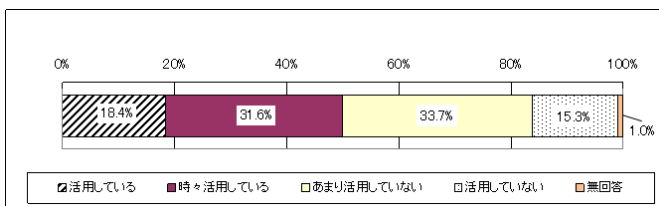
【環境教育カリキュラム】



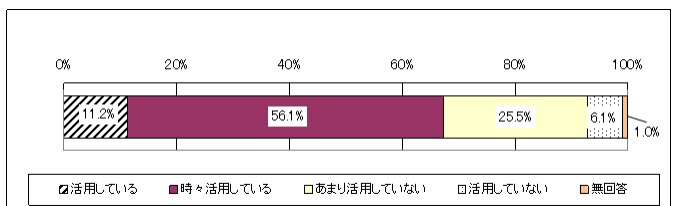
【環境教育啓発資料「くらしと環境学習Web」】



【CO2削減 アクション月間チェックシート】



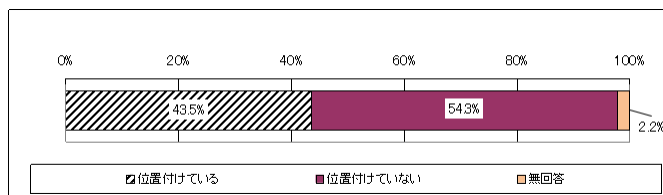
【環境教育掲示用教材】



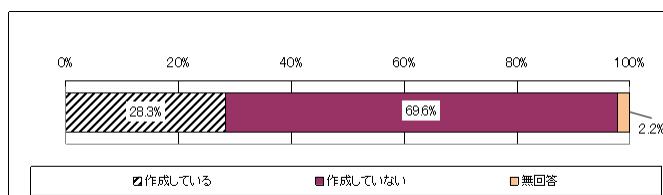
区市町村立中学校（管理職）

1 環境教育に関わる次の各項目について、当てはまるものを一つ選び、（ ）に○を付けてください。

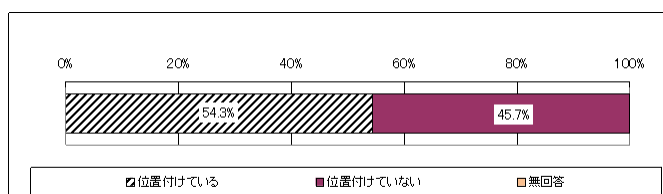
(1) 貴校では、平成30年度の重点目標などに、環境教育に関する内容を位置付けていますか。



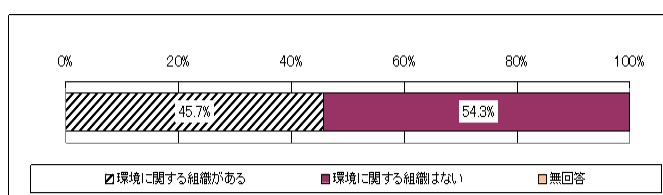
(2) 貴校では、平成30年度の環境教育の全体計画を作成していますか。



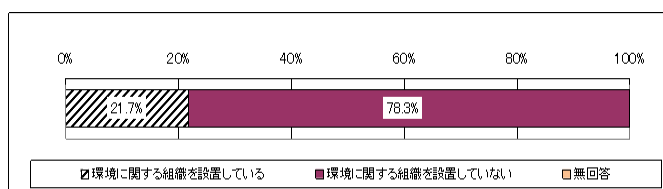
(3) 貴校では、平成30年度の校務分掌に環境教育担当を位置付けていますか。



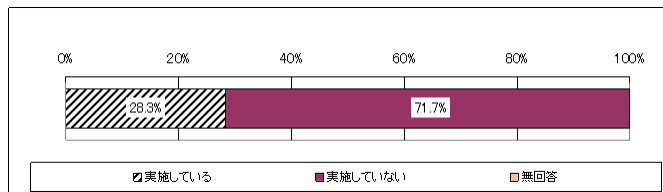
(4) 貴校では、平成30年度の生徒会に環境に関する組織（環境委員会等）はありますか。



(5) 貴校では、平成30年度の地域やPTAと連携して環境に関する組織（環境委員会等）を設置していますか。

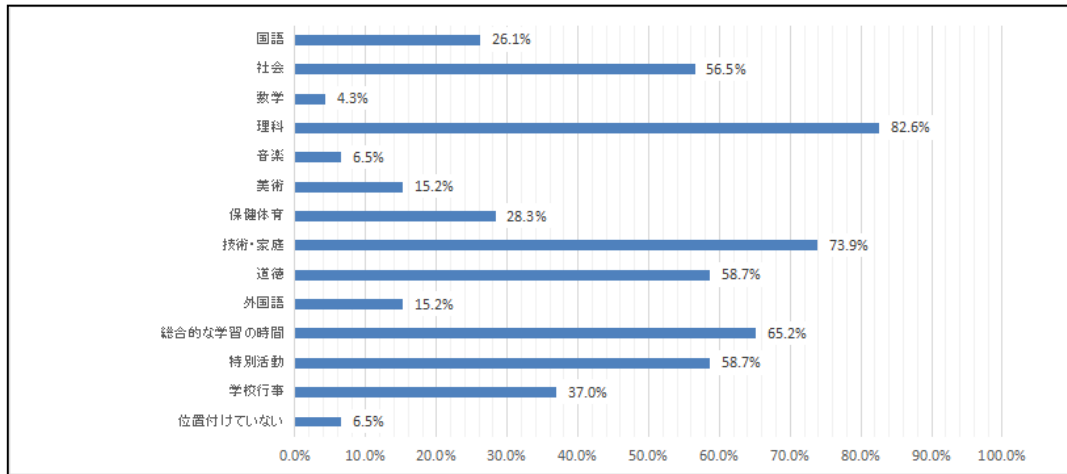


(6) 貴校では、木育（木材を使用した活動など）を実施していますか。



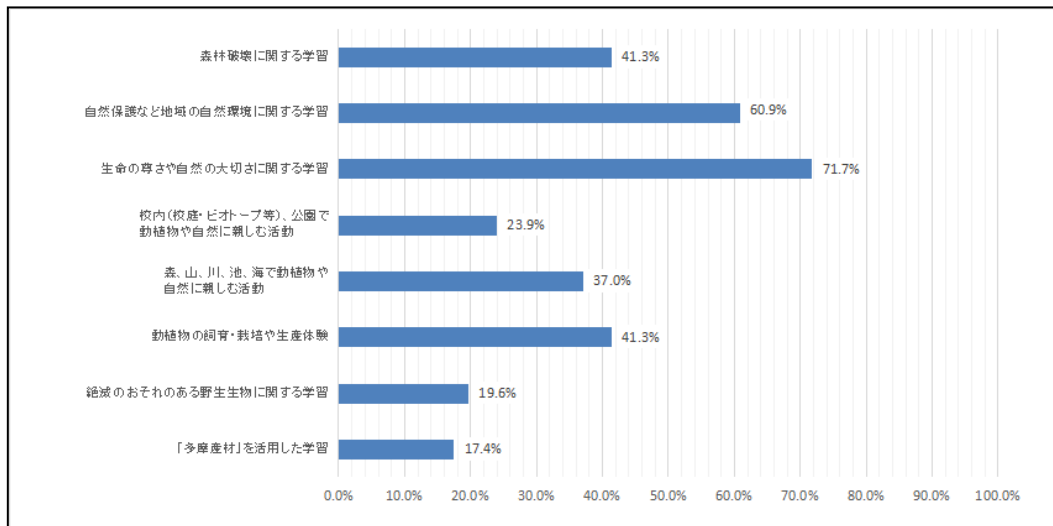
2 環境教育に関わる次の各項目について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。

(1) 貴校では、平成29年度の教育課程において、環境教育をどのように位置付けて実施しましたか。＜複数選択可＞

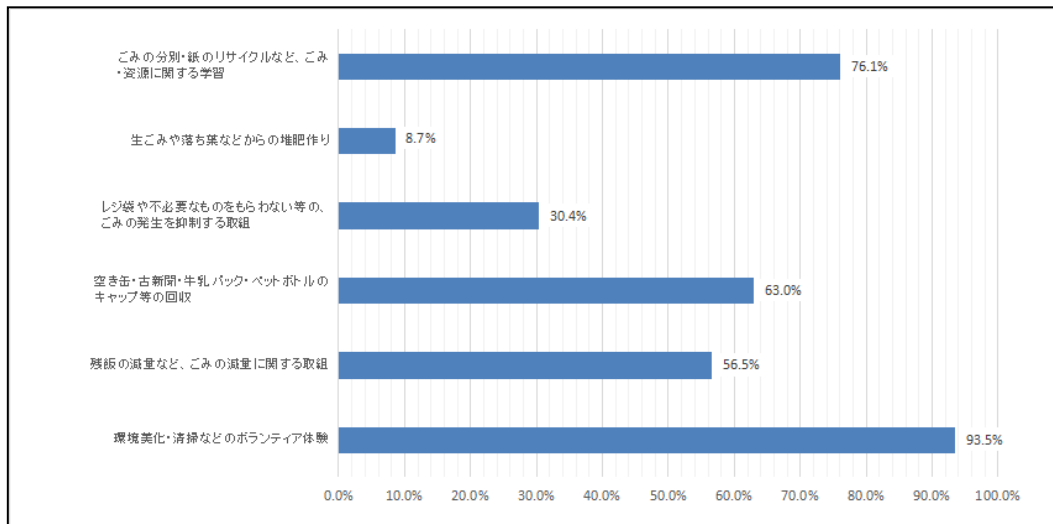


(2) 貴校では、平成29年度の環境教育において、どのような学習や取組をしましたか。実施した学習や取組として当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

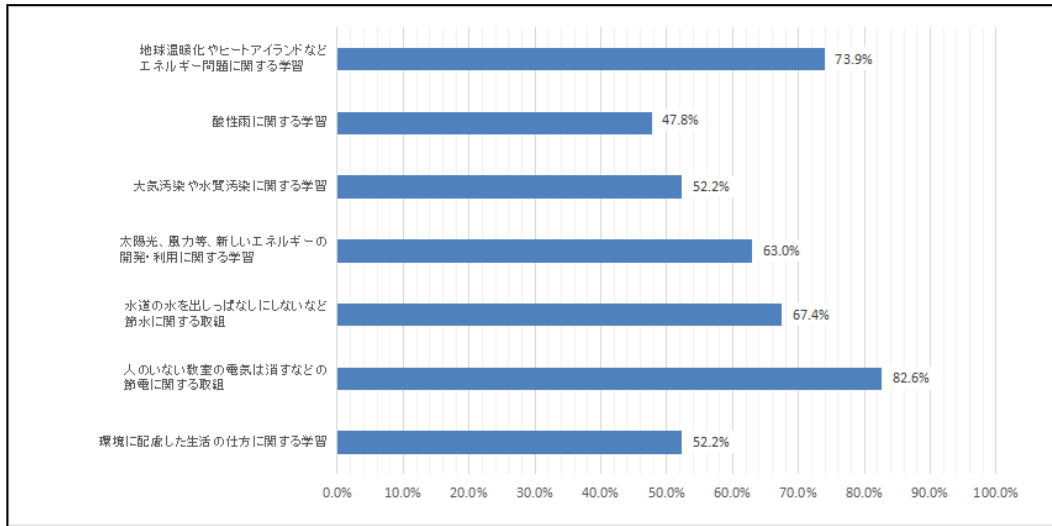
【自然・生命に関する内容】



【ごみ・資源に関する内容】

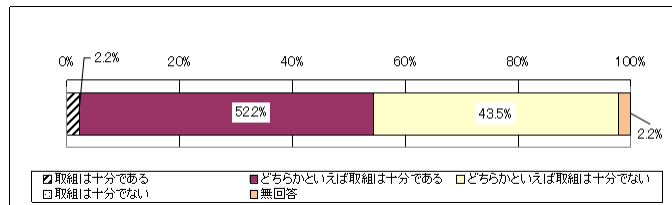


【エネルギー・地球温暖化に関する内容】

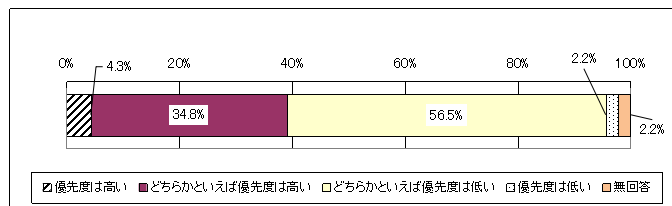


③ 環境教育に関わる次の各項目について、最も近いと思うものの番号に○を付けてください。

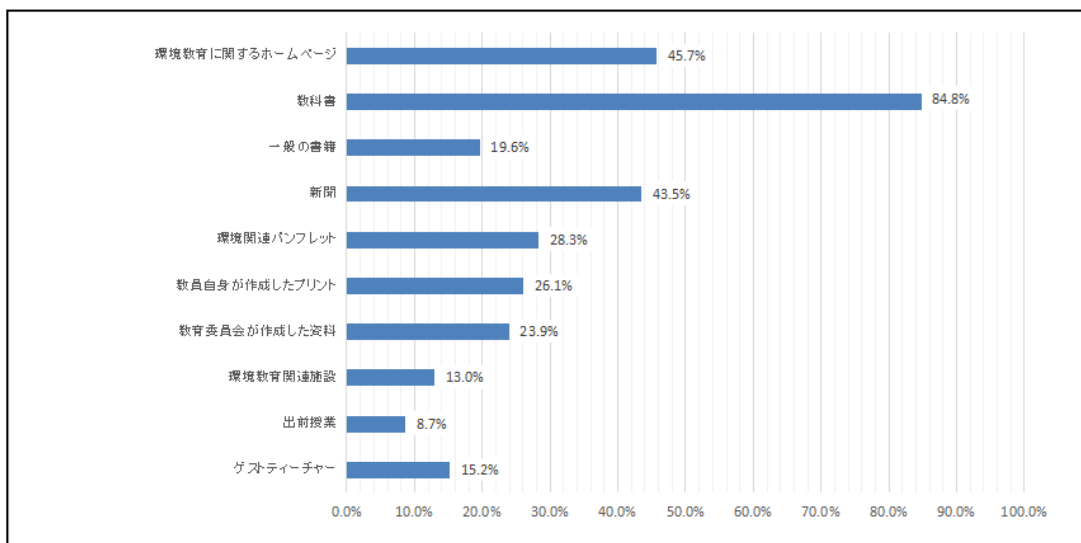
(1) 貴校における、平成29年度の環境教育の実施状況について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



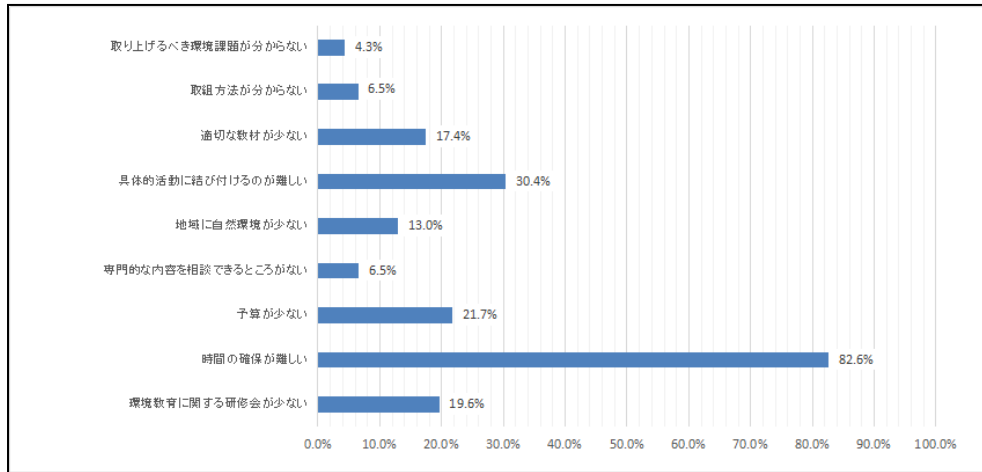
(2) 現在の教育課題として、貴校における環境教育の優先度について、当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。



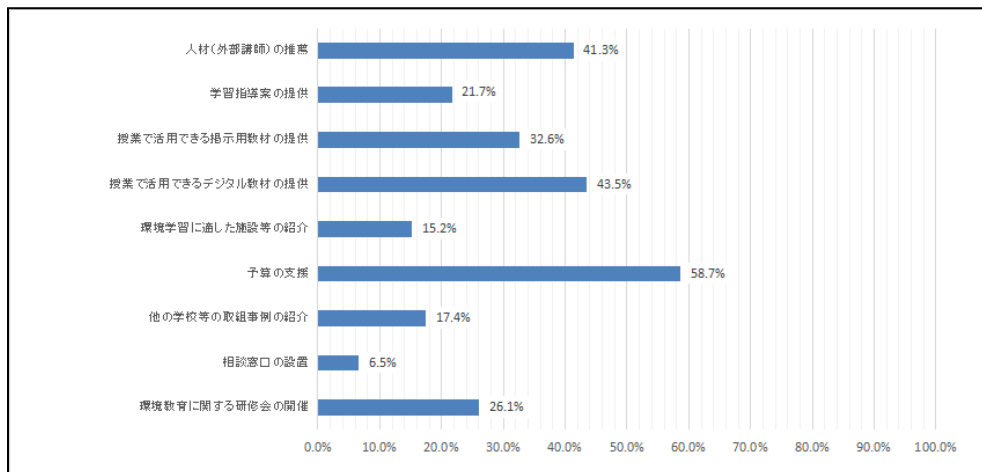
(3) 環境教育に取り組む上での情報源又は活用しているものについて、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



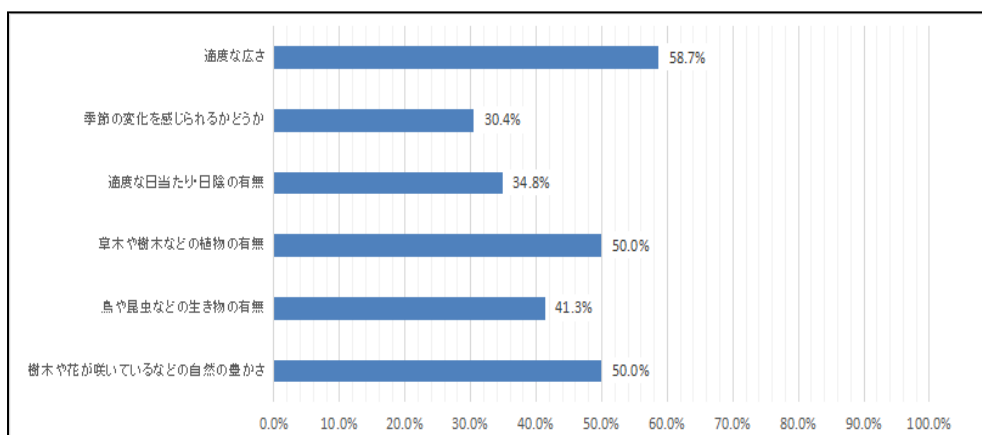
(4) 環境教育に取り組む上での問題点として、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



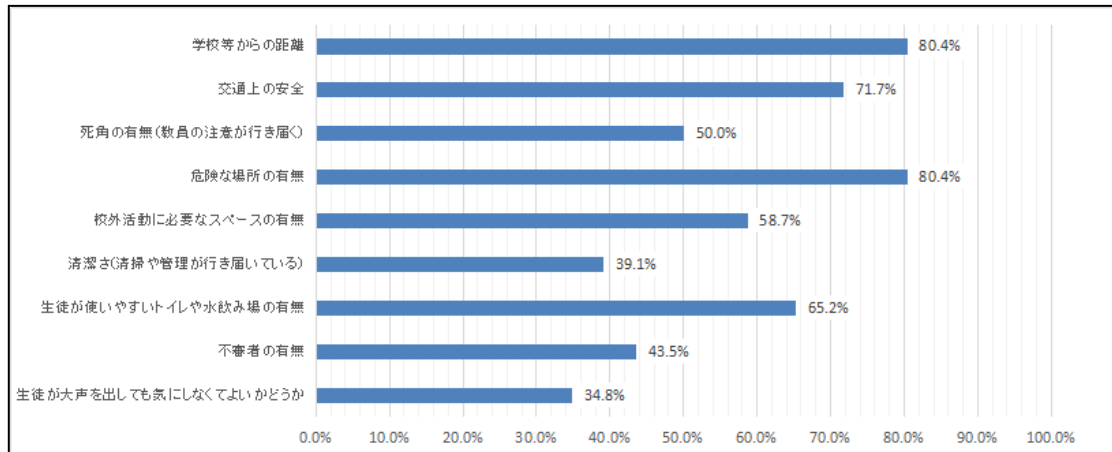
(5) 環境教育に取り組む上で教育委員会等に期待することとして、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞



(6) 校外の公園等で環境教育の活動を行う上で重視する点について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

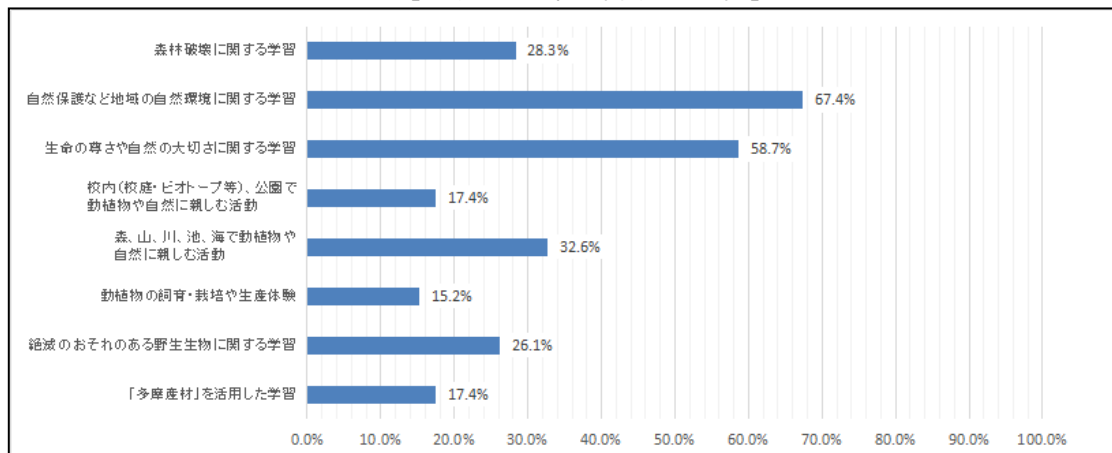


- (7) 公園等で校外学習を行う上で重視する点について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

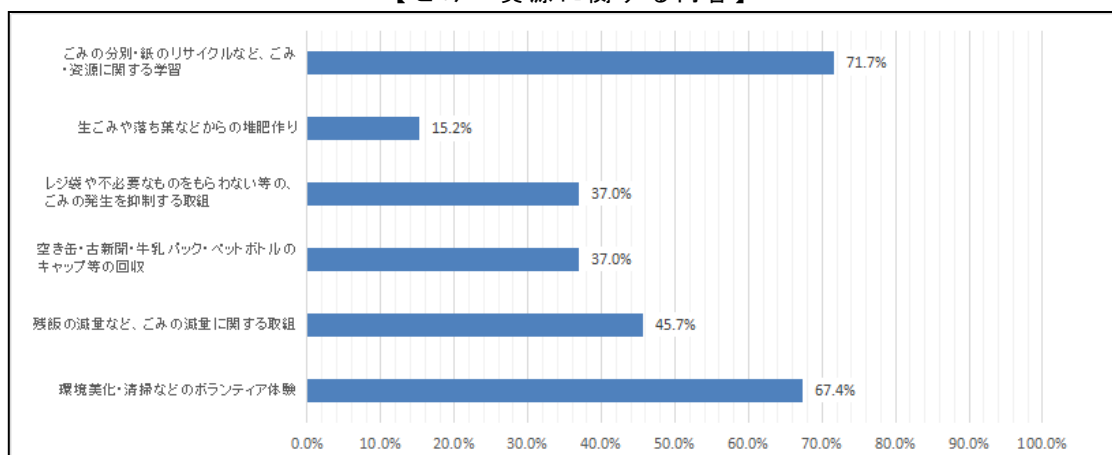


- (8) 今後、実施したい環境教育の取組として当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

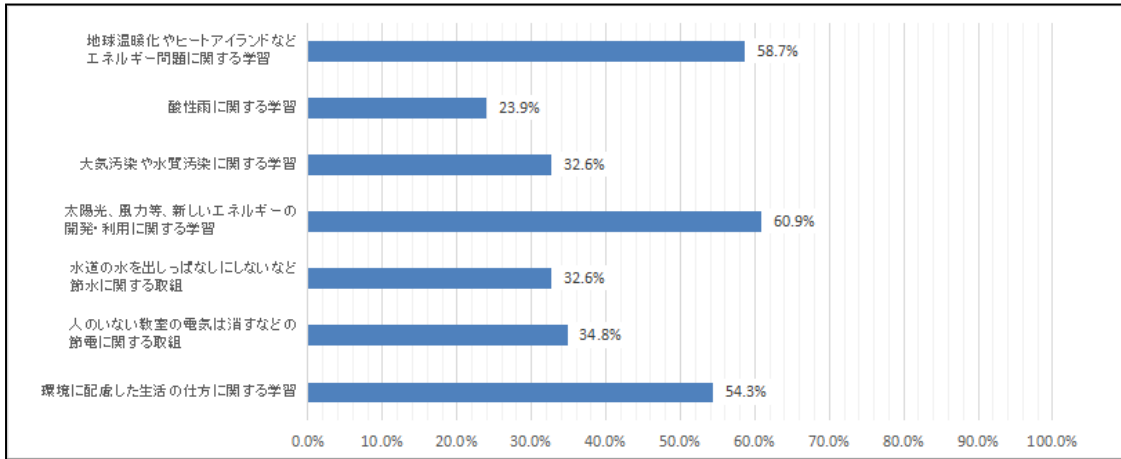
【自然・生命に関する内容】



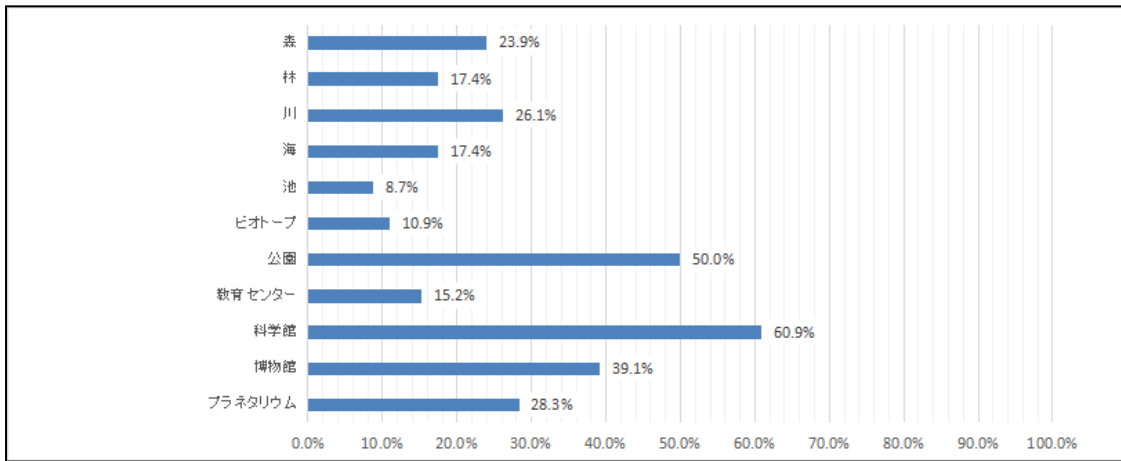
【ごみ・資源に関する内容】



【エネルギー・地球温暖化に関する内容】

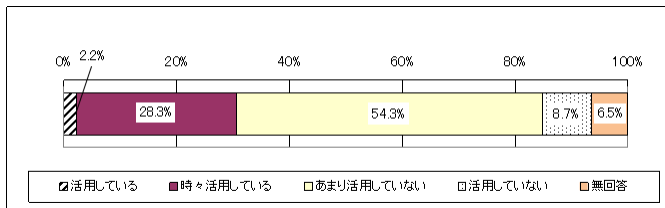


(9) 今後、環境教育を推進する上で活用したい自然環境や施設について、当てはまるものを選び、() に○を付けてください。＜複数選択可＞

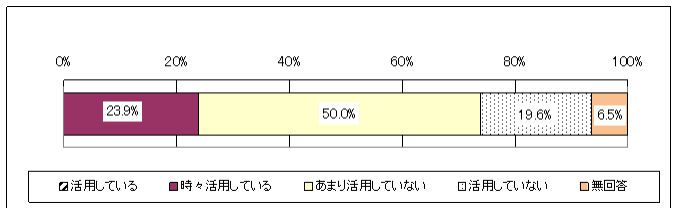


4 東京都教育委員会が作成した作成物の活用状況について、それぞれ当てはまるものを一つ選び、() に○を付けてください。

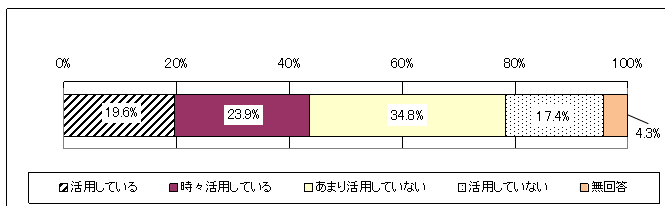
【環境教育カリキュラム】



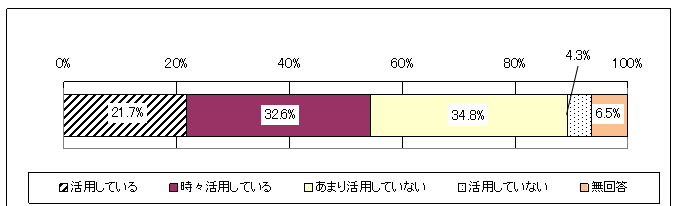
【環境教育啓発資料「くらしと環境学習Web」】



【CO2削減 アクション月間チェックシート】



【環境教育掲示用教材】



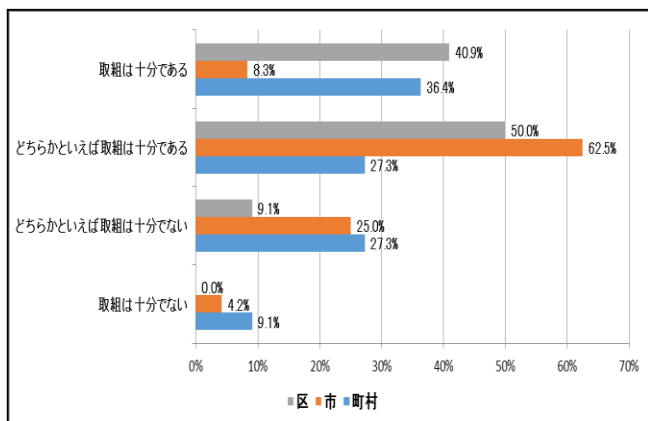
3 調査結果の分析

環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に関する実施状況について

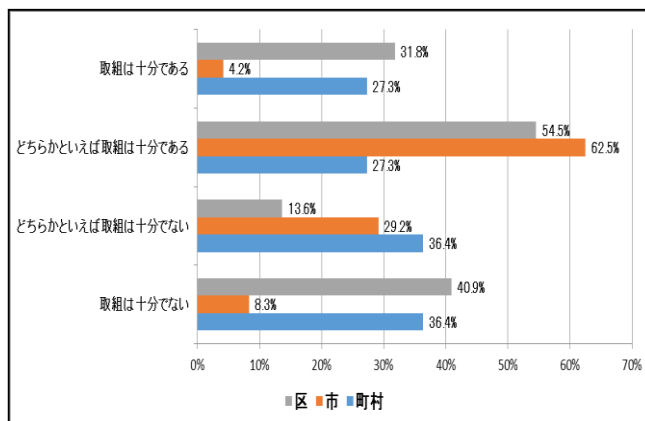
■教育委員会

貴管下小・中学校等における、環境教育の実施状況をどのように捉えていますか。

【小学校等】



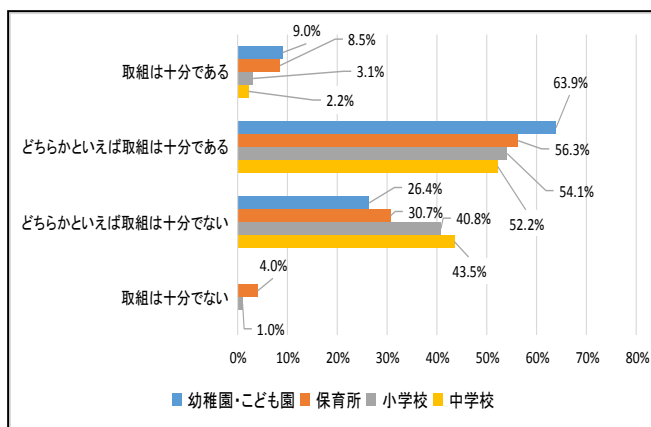
【中学校等】



■幼稚園・こども園、保育所等、小学校等、中学校等

環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に関する実施状況について、どのように捉えていますか。

【校種別】



教育委員会の調査において、区部の教育委員会は、小学校等、中学校等ともに「取組は十分である」、「どちらかといえば取組は十分である」と回答した割合が多い。一方、市町村部の教育委員会は、小学校等、中学校等ともに「どちらかといえば取組は十分でない」、「取組は十分でない」と回答した割合が多い。

また、幼稚園・こども園、保育所等、小学校等、中学校等の調査において、校種別に見ると、「取組は十分である」、「どちらかといえば取組は十分である」と回答した幼稚園・こども園、保育所等の割合は、小学校等、中学校等と比べて多く、「どちらかといえば取組は十分でない」と回答した小学校等、中学校等の割合は、幼稚園・こども園、保育所等と比べて多くなっている。

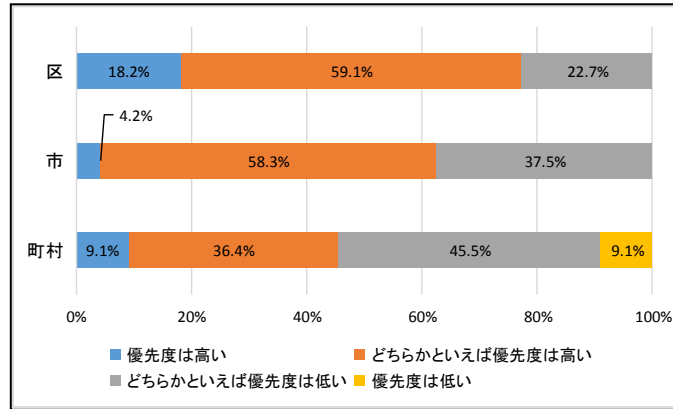
これらのことから、区部においては、市町村部に比べて取組が十分であると捉えている教育委員会や校種が多いこと、幼稚園・こども園、保育所等においては、小学校等、中学校等に比べて取組が十分であると捉えていることが分かる。

環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）の優先度について

■教育委員会

現在の教育課題としての環境教育の優先度について

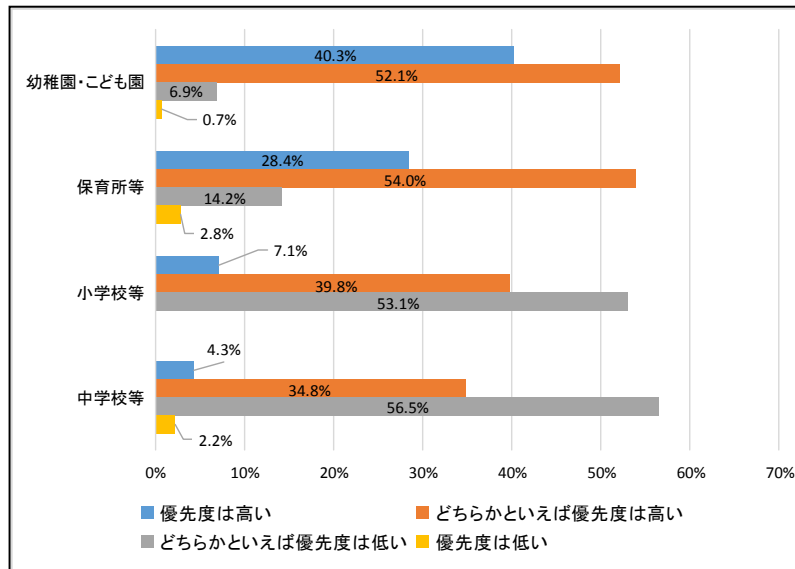
【地域別】



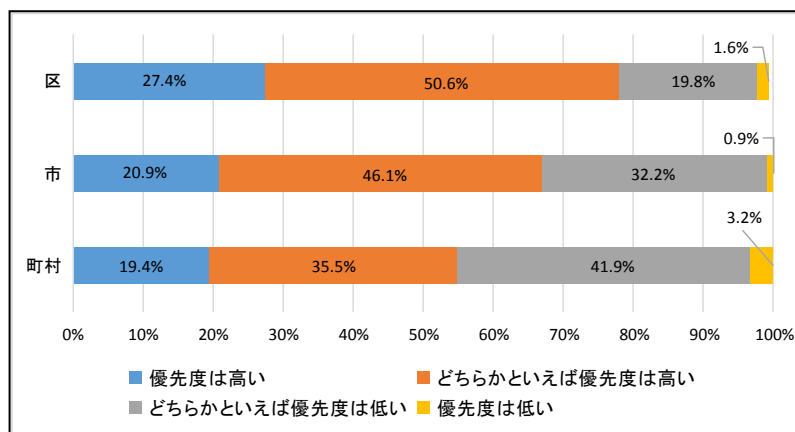
■幼稚園・こども園、保育所等、小学校等、中学校等

現在の教育課題としての環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）の優先度について

【校種別】



【地域別】



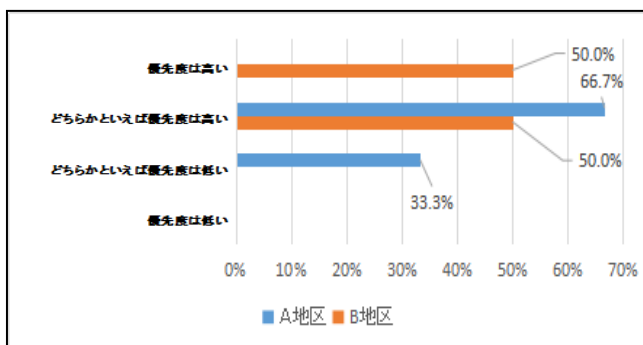
教育委員会の調査において、地域別に見ると、「優先度は高い」、「どちらかといえば優先度は高い」と回答した区部の教育委員会の割合は、市町村部の教育委員会と比べて多くなっている。

また、幼稚園・こども園、保育所等、小学校等、中学校等の調査において、校種別に見ると、「優先度は高い」、「どちらかといえば優先度は高い」と回答した幼稚園・こども園、保育所等の割合は、小学校等、中学校等と比べて高く、「どちらかといえば優先度は低い」、「優先度は低い」と回答した小学校等、中学校等の割合は、幼稚園・こども園、保育所等と比べて高くなっている。

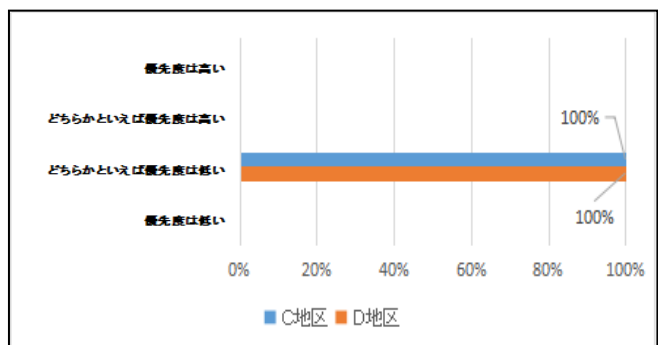
さらに、地域別に見ると、教育委員会の結果と同様に「優先度は高い」、「どちらかといえば優先度は高い」と回答した区部の学校等の割合は、市町村部の学校等と比べて多くなっている。

これらのことから、区部の教育委員会、学校等においては、市町村部の教育委員会、学校等に比べて現在の教育課題としての環境教育の優先度が高いと捉えていること、幼稚園・こども園、保育所等においては、小学校等、中学校等に比べて現在の教育課題としての環境教育の優先度が高いと捉えていることが分かる。

「優先度は高い」、「どちらかといえば優先度は高い」と回答した教育委員会と、管下の小・中学校等の環境教育における優先度との関係について



「優先度は低い」、「どちらかといえば優先度は低い」と回答した教育委員会と、管下の小・中学校等の環境教育における優先度との関係について

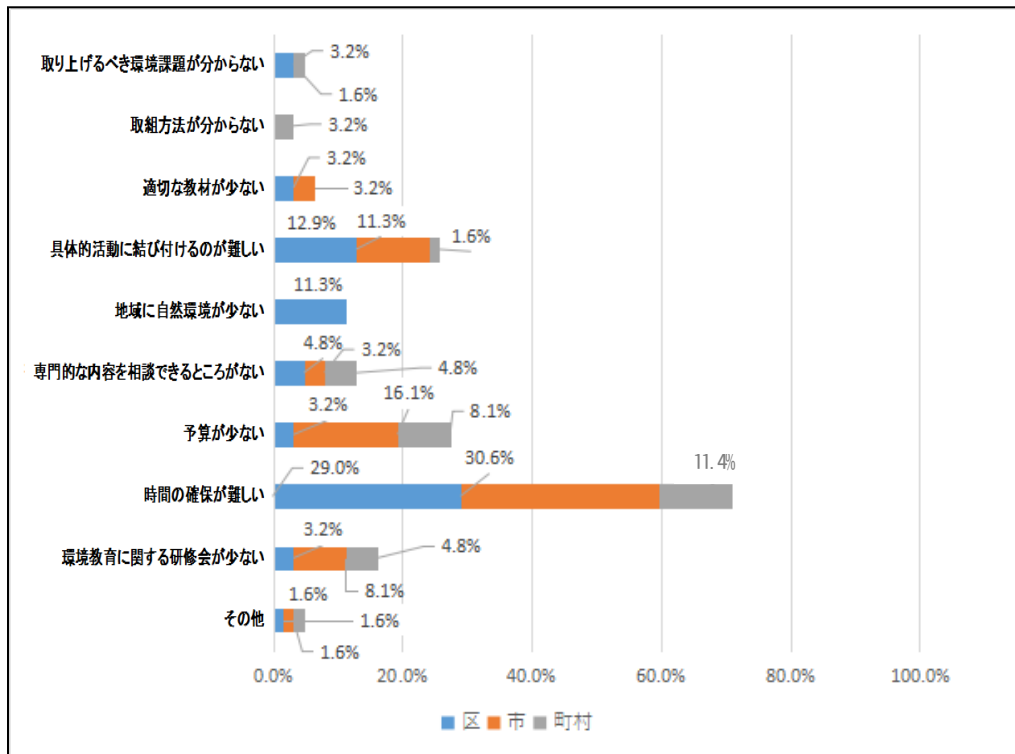


「優先度は高い」、「どちらかといえば優先度は高い」と回答した教育委員会の管下の小・中学校等と、「優先度は低い」、「どちらかといえば優先度は低い」と回答した教育委員会の管下の小・中学校等を比較すると、「優先度は高い」、「どちらかといえば優先度は高い」と回答した教育委員会の管下の小・中学校等の方が、「優先度は高い」、「どちらかといえば優先度は高い」と回答する傾向にある。

環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に取り組む上での問題点について

■ 教育委員会

環境教育に取り組む上での問題点について



教育委員会の調査において、環境教育に取り組む上での問題点について、最も割合が多い回答は「時間の確保が難しい」であり、全体の 71.0% の教育委員会が回答している。

また、次に割合が多い回答は「予算が少ない」で、27.4% の教育委員会が回答している。回答の内訳を地域別に見ると、区部 3.2% に対して、市部は、16.1%、町村部は、8.1% と区部に比べて高い割合を占めていることが分かる。

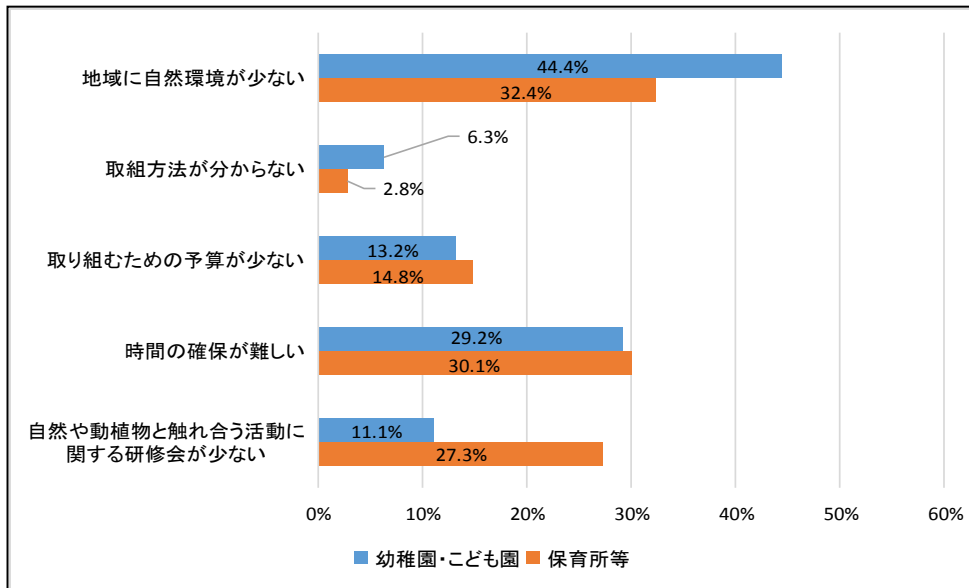
一方で、市町村部では回答がなかった「地域に自然環境が少ない」については、区部が 11.3% の割合となっている。

これらのことから、区部における環境教育に取り組む上での問題点については、「時間の確保」、「自然環境」であり、市町村部における環境教育に取り組む上での問題点については、「時間の確保」、「予算」であることが分かる。

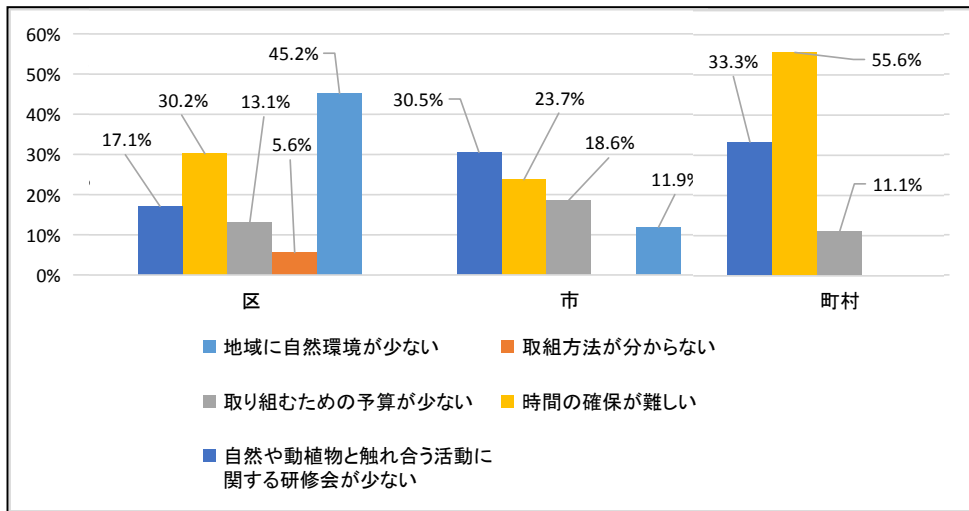
■ 幼稚園・こども園、保育所等

環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に取り組む上での問題点について

【校種別】



【地域別】



幼稚園・こども園、保育所等の調査において、環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に取り組む上での問題点について、最も割合が多いのは「地域に自然環境が少ない」で、全体の44.4%の幼稚園・こども園、32.4%の保育所等が回答している。地域別に見ると「地域に自然環境が少ない」と回答した区部の割合は、45.2%、市部の割合は、11.9%となっている。

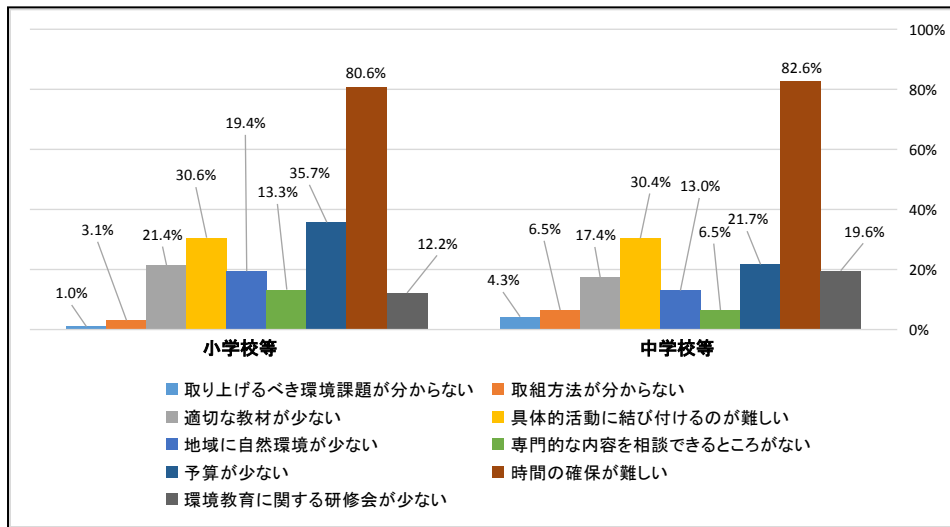
また、次に割合が多いのは「時間の確保が難しい」で、全体の29.2%の幼稚園・こども園、30.1%の保育所等が回答している。

これらのことから、幼稚園・こども園における環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に取り組む上での問題点については、「自然環境」、「時間の確保」であり、保育所等については、「自然環境」、「時間の確保」に加えて「研修の機会」であることが分かる。

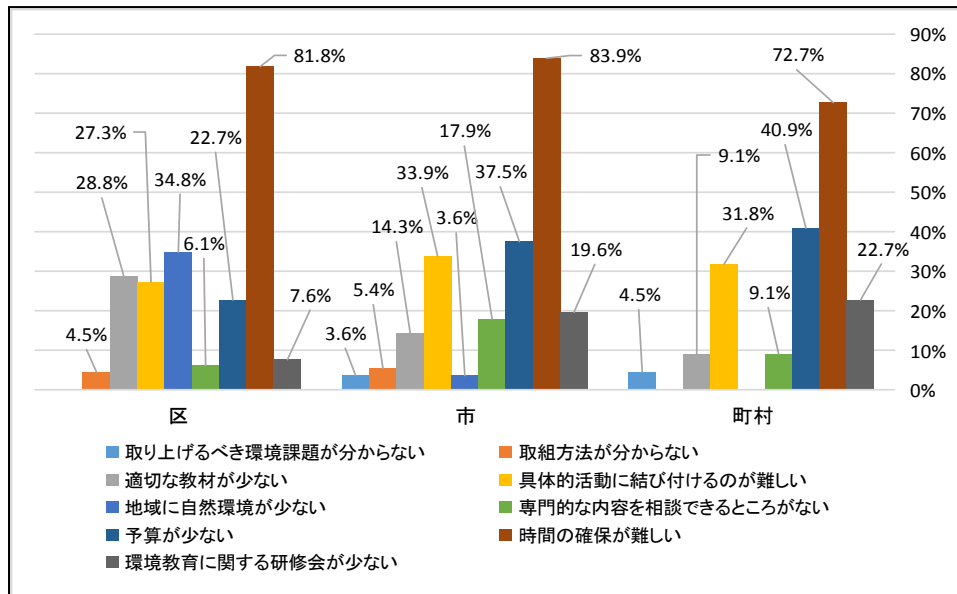
■小学校等、中学校等

環境教育に取り組む上での問題点について

【校種別】



【地域別】



小学校等、中学校等の調査において、環境教育に取り組む上での問題点について、最も割合が多いのは「時間の確保が難しい」で、全体の80.6%の小学校等、82.6%の中学校等が回答している。

また、次に割合が多い回答は、小学校等では「予算が少ない」で、35.7%、中学校等では、「具体的な活動に結び付けるのが難しい」で30.4%が回答している。「具体的な活動に結び付けるのが難しい」については、小学校等でも30.6%が回答している。

一方で、市町村部では回答が少なかった「地域に自然環境が少ない」、「適切な教材が少ない」については、区部では、それぞれ34.8%、28.8%が回答している。また、区部では回答が少なかった「予算が少ない」、「環境教育に関する研修会が少ない」については、市部では、それぞれ37.5%、19.6%、町村部では、それぞれ40.9%、22.7%が回答している。

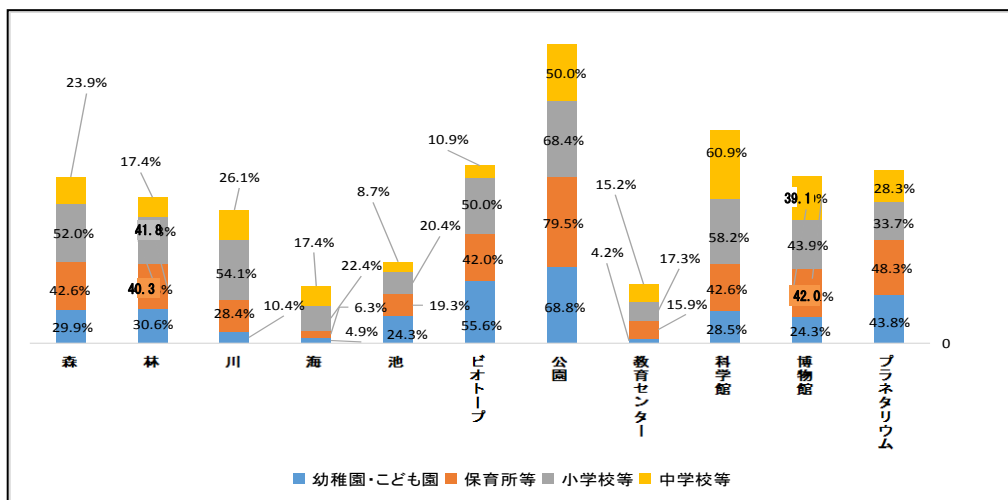
これらのことから、小学校等、中学校等における環境教育に取り組む上での問題点については、「時間の確保」、「予算」、「具体的な活動に結び付ける」であること、区部における問題点については、「時間の確保」、「自然環境」、「適切な教材」であり、市町村部については、「時間の確保」、「予算」、「研修の機会」であることが分かる。

環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）に活用したい自然環境や施設について

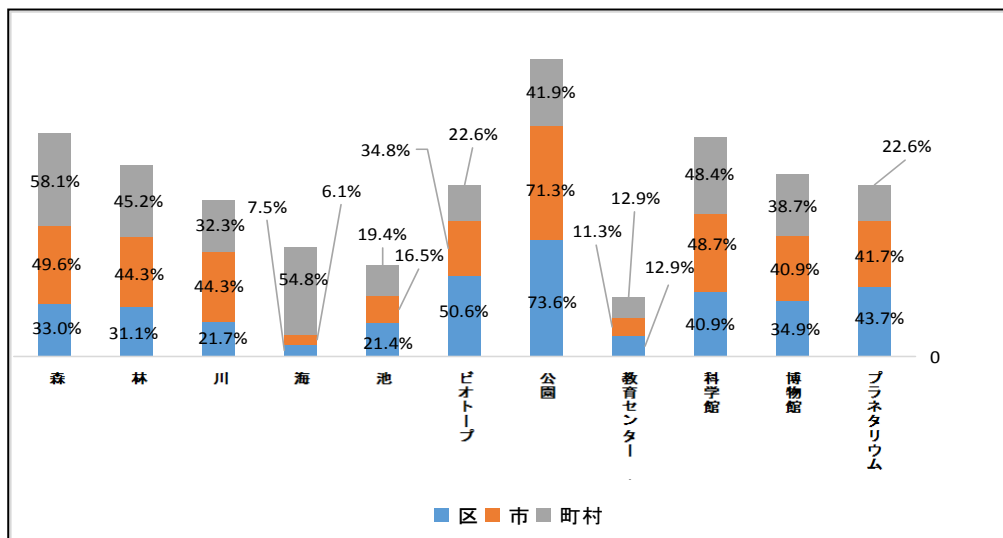
■ 幼稚園・こども園、保育所等、小学校等、中学校等

今後、環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）を推進する上で活用したい自然環境や施設について

【校種別】



【地域別】



今後、環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）を推進する上で活用したい自然環境や施設について、校種別に見ると、最も割合が多い回答は、幼稚園・こども園、保育所等、小学校等においては、「公園」で、全体の68.8%の幼稚園・こども園、79.5%の保育所等、68.4%の小学校等が回答している。中学校等においては、「科学館」が最も活用したい自然環境や施設となっており、60.9%が回答している。

また、地域別に見ると、区部、市部においては、「公園」で、それぞれ全体の73.6%、71.3%が回答している。町村部においては、「森」が最も活用したい自然環境や施設となっており、58.1%が回答している。

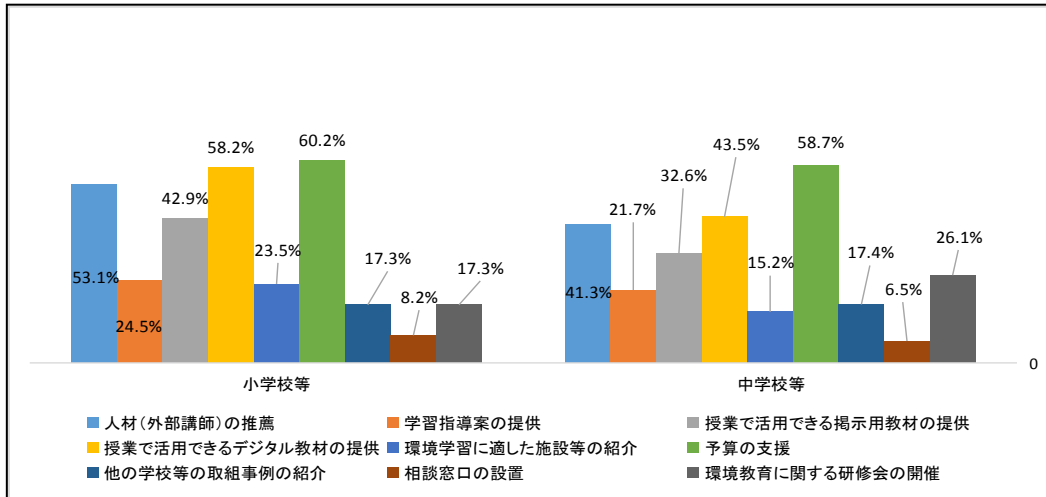
これらのことから、今後、環境教育（身近な自然や動植物と触れ合う活動）を推進する上で活用したい自然環境や施設については、校種別、地域別に見ても「公園」と回答している割合が多いことが分かる。

教育委員会に期待することについて

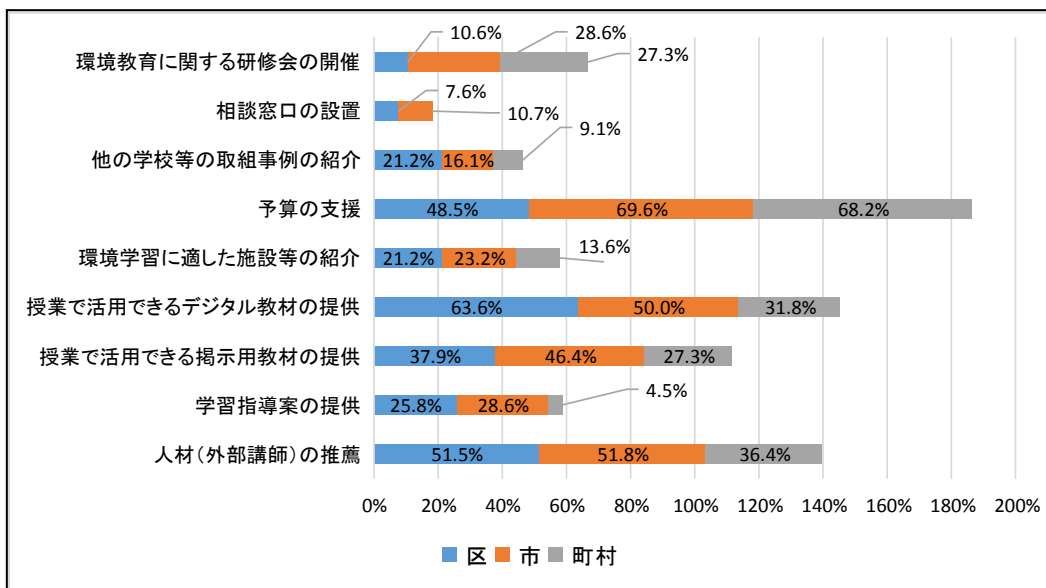
■小学校等、中学校等

環境教育に取り組む上で教育委員会等に期待すること

【校種別】



【地域別】



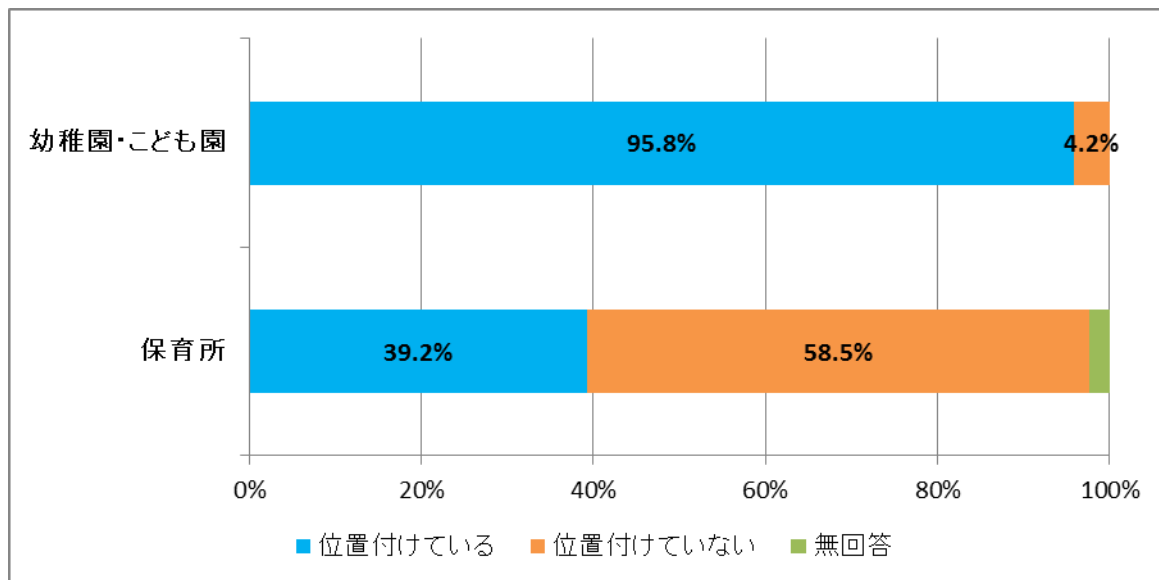
小学校等、中学校等の調査において、環境教育に取り組む上で教育委員会等に期待することについて、最も割合が多い回答は「予算の支援」で、全体の60.2%の小学校等、58.7%の中学校等が回答している。また、割合が多い回答として、「授業で活用できるデジタル教材の提供」については、全体の58.2%の小学校等、43.5%の中学校等が、「人材（外部講師）の推薦」については、全体の53.1%の小学校等、41.3%の中学校等が回答している。

地域別に見ても、「予算の支援」、「授業で活用できるデジタル教材の提供」、「人材（外部講師）の推薦」についてはどの地域でも教育委員会等に期待することとして回答されている。

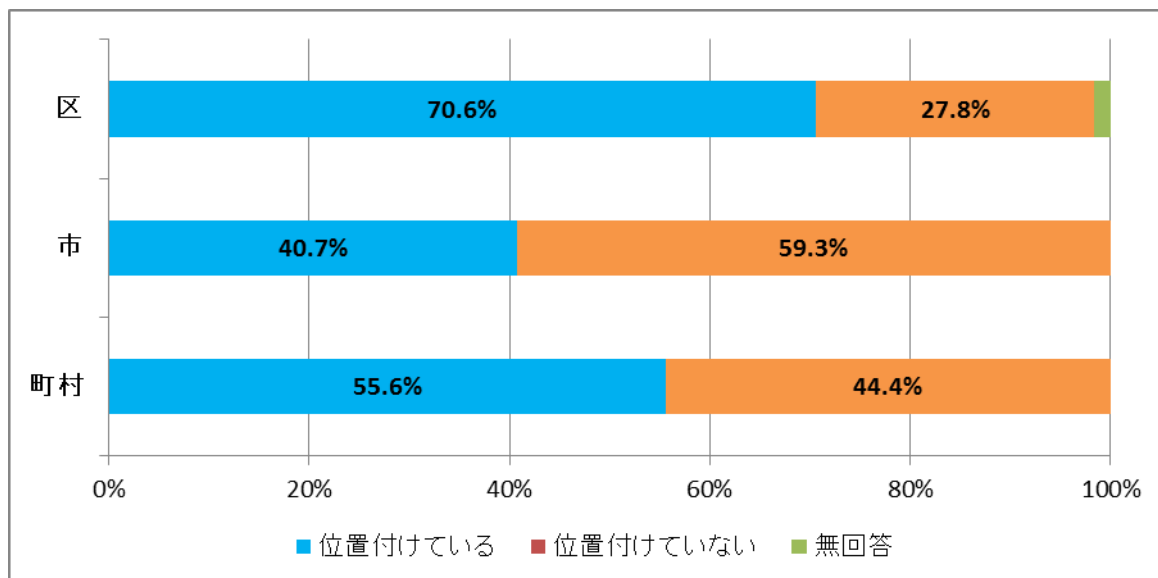
幼稚園・こども園、保育所等における調査結果について

■幼稚園・こども園、保育所等

平成30年度において身近な自然や動植物と触れ合う活動に関する担当を位置付けているか。



【地域別】

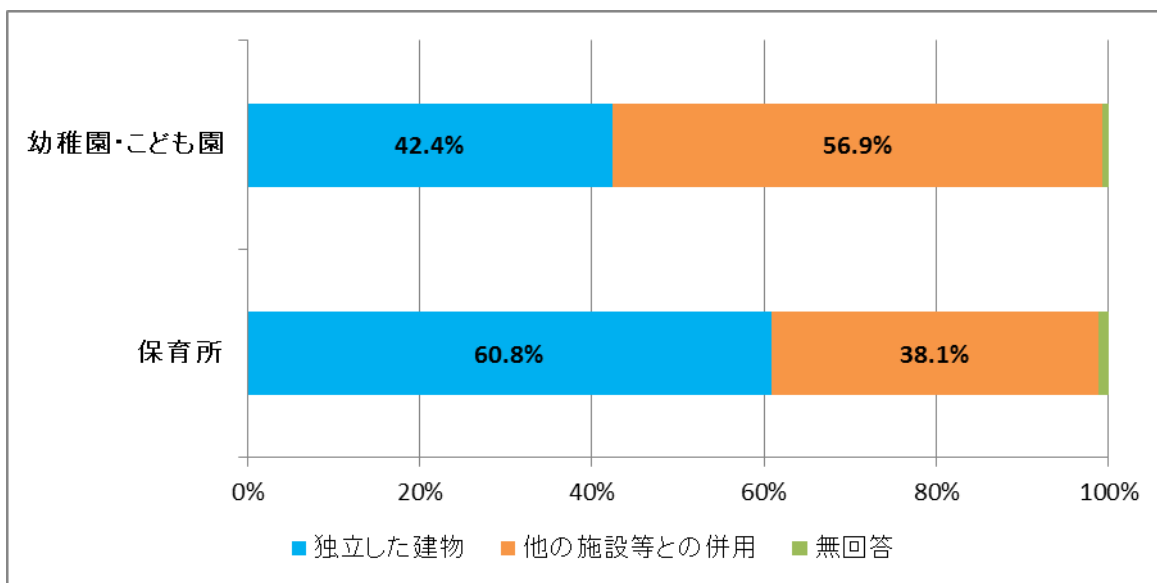


平成30年度において身近な自然や動植物と触れ合う活動に関する担当を位置付けているかについて、校種別に見ると、幼稚園・こども園では、全体の95.8%が位置付けていると回答しているのに対して、保育所等では、全体の39.2%が位置付けていると回答している。

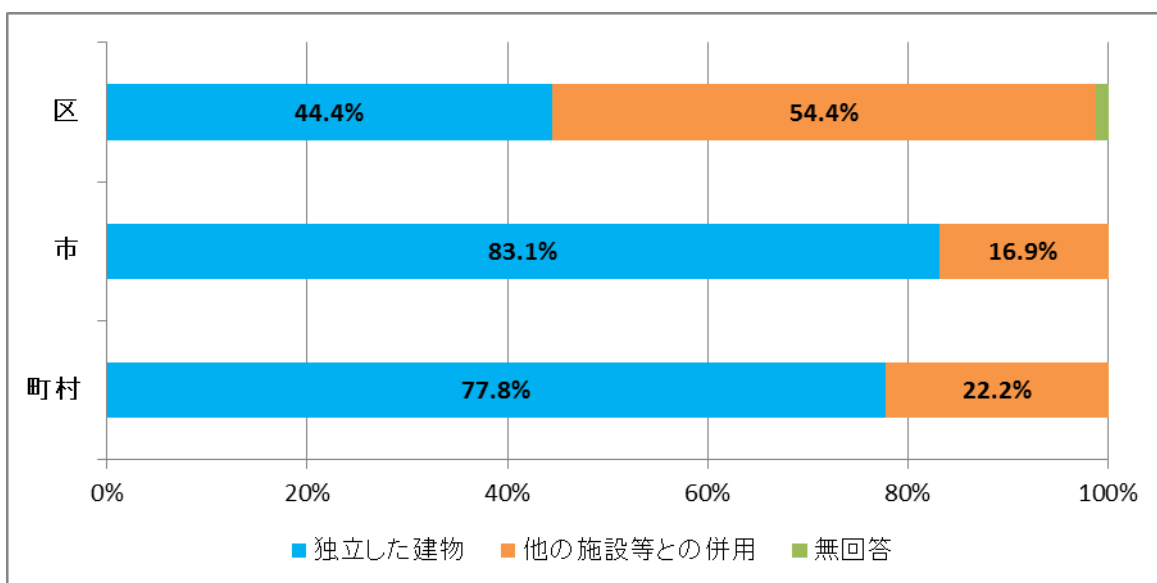
地域別に見ると、区部では、全体の70.6%が位置付けていると回答しているのに対して、市部、町村部では、それぞれ全体の40.7%、55.6%が位置付けていると回答している。

■ 幼稚園・こども園、保育所等

幼稚園・こども園、保育所等における施設の形態について



【地域別】



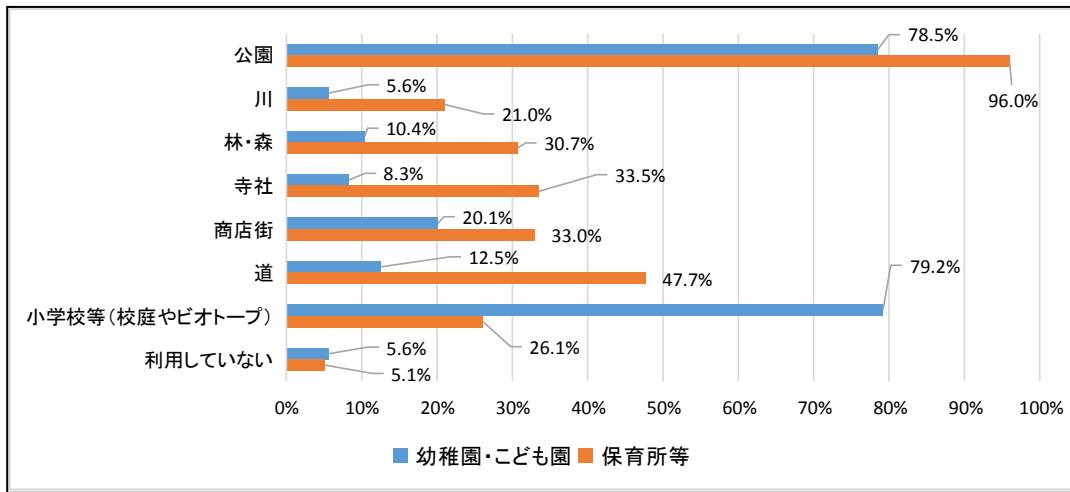
幼稚園・こども園、保育所等における施設の形態については、校種別に見ると、幼稚園・こども園では、全体の42.4%が独立した建物と回答しているのに対して、保育所等では、全体の60.8%が独立した建物であると回答している。

地域別に見ると、区部では、全体の44.4%が独立した建物であると回答しているのに対して、市部、町村部では、それぞれ全体の83.1%、77.8%が位置付けていると回答している。

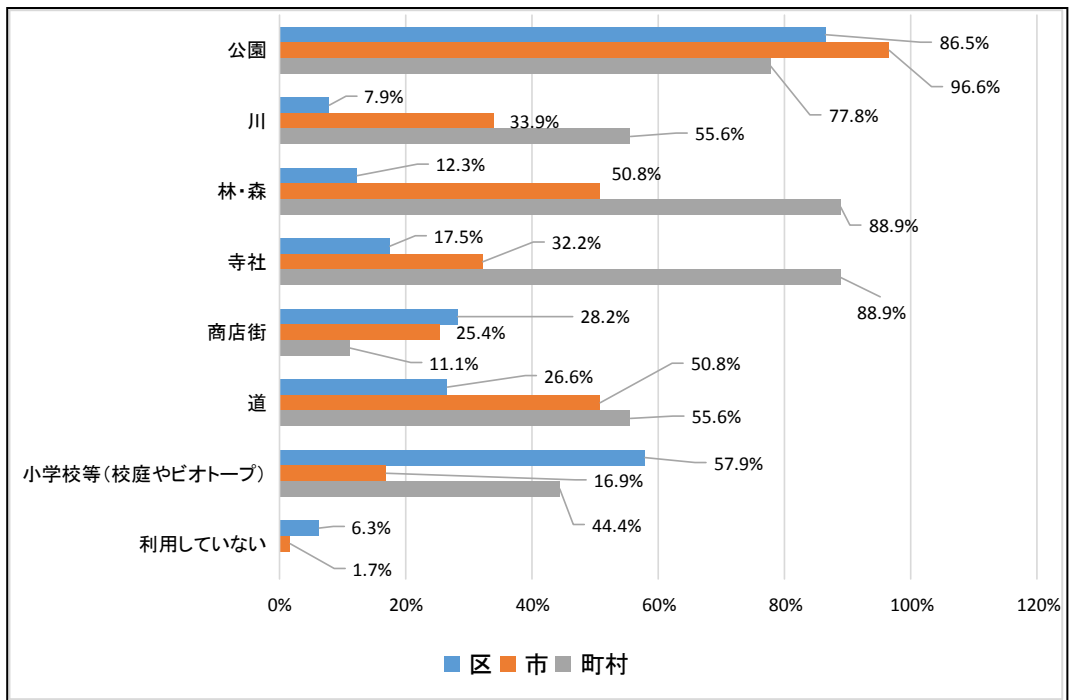
■ 幼稚園・こども園、保育所等

敷地外にある施設の中で、活動スペースとして利用している場所（公園など）について

【校種別】



【地域別】



敷地外にある施設の中で、活動スペースとして利用している場所（公園など）については、校種別に見ると、最も割合が多い回答は、幼稚園・こども園においては、「小学校等（校庭やビオトープ）」で、全体の79.2%の幼稚園・こども園が回答している。一方で、保育所等の回答は、全体の26.1%になっている。

保育所等においては、「公園」が最も利用している場所となっており、96.0%が回答している。公園については、幼稚園・こども園の回答も、全体の78.5%になっている。

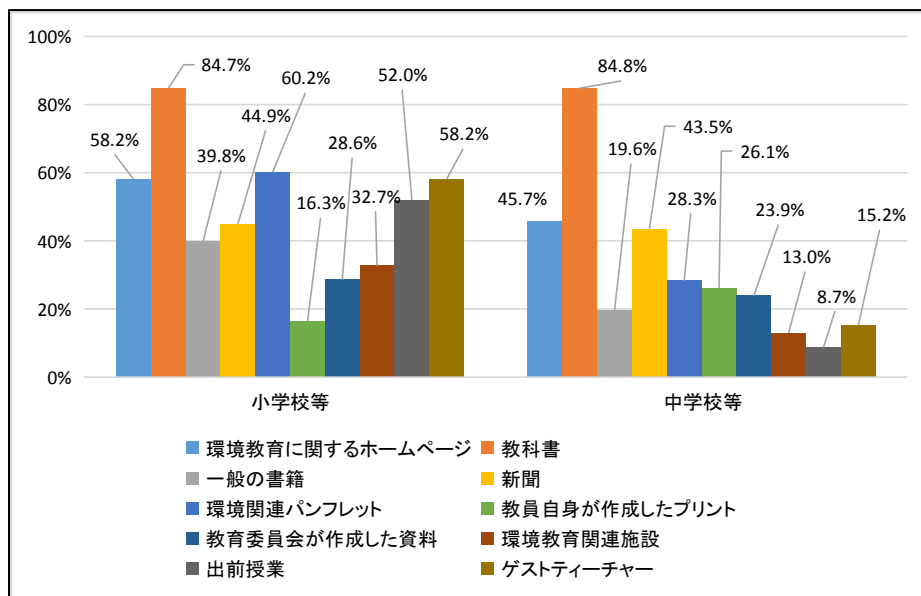
また、地域別に見ると、「公園」については、区部、市部、町村部、それぞれ全体の86.5%、96.6%、77.8%が回答している。一方で、「小学校等（校庭やビオトープ）」については、区部や町村部の割合が市部に比べて多く、「川」、「林・森」、「寺社」、「道」については、市部や町村部の割合が区部に比べて多くなっている。

小学校等、中学校等における調査結果について

■小学校等、中学校等

環境教育に取り組む上での情報源又は活用しているものについて

【校種別】



小学校等、中学校等の調査において、環境教育に取り組む上での情報源又は活用しているものについて、最も割合が多い回答は「教科書」で、全体の84.7%の小学校等、84.8%の中学校等が回答している。

次に割合が多い回答は、小学校等では、「環境関連パンフレット」で、60.2%の割合となっているが、中学校等では28.3%の割合となっている。

一方で、中学校等で「教科書」の次に割合が多い回答は、「環境教育に関するホームページ」で45.7%の割合となっており、小学校等でも58.2%と高い割合となっている。

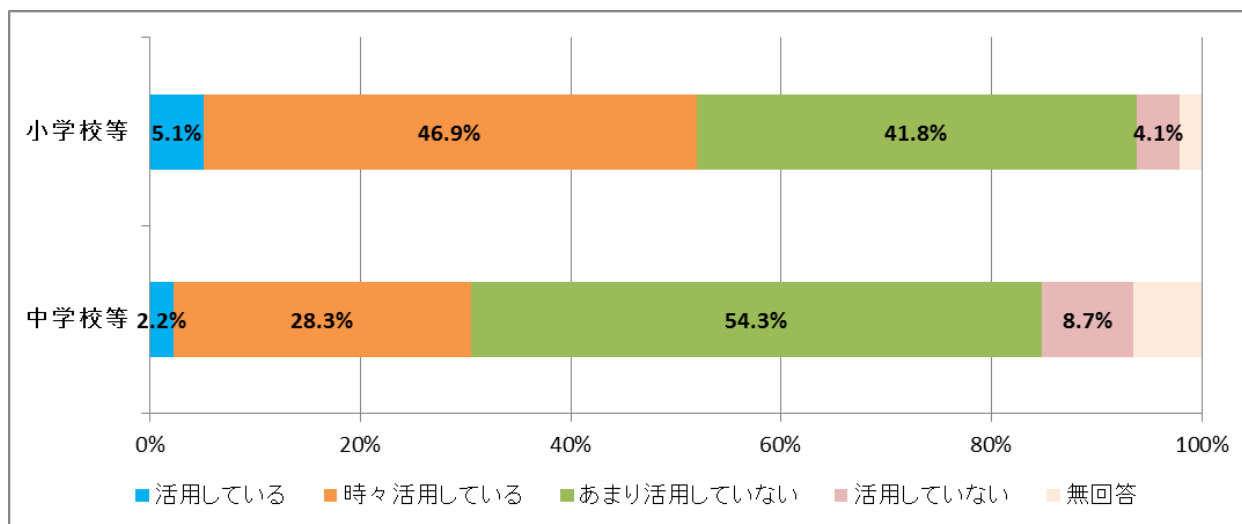
さらに、小学校等で58.2%と割合が多い「ゲストティーチャー」については、中学校等では、15.2%の活用となっている。

■小学校等、中学校等

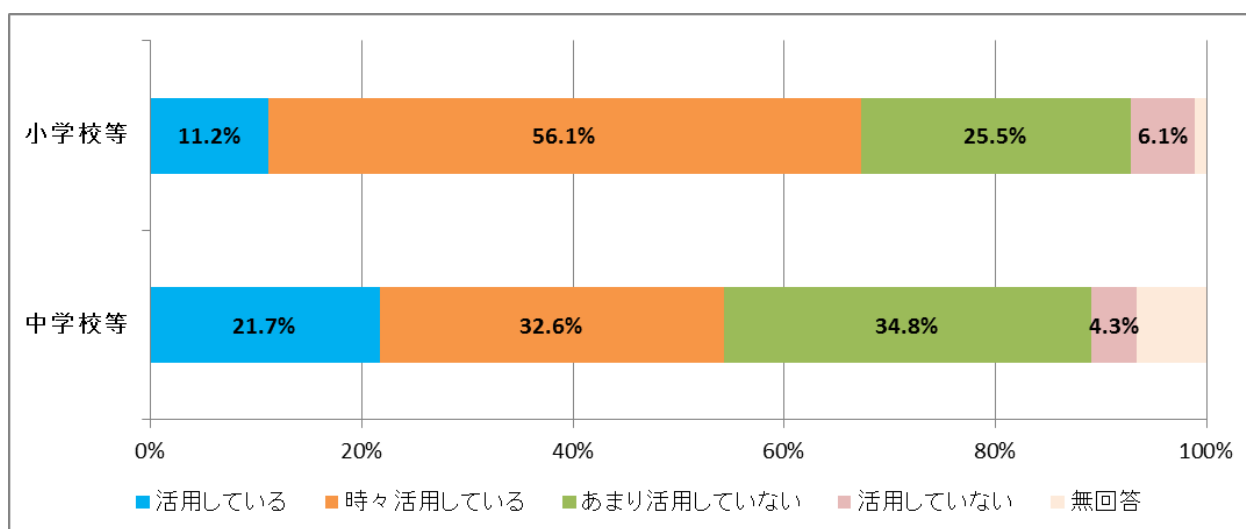
東京都教育委員会が作成した作成物の活用状況について

[環境教育カリキュラム]

【校種別】



[環境教育掲示用教材]



小学校等、中学校等の調査において、東京都教育委員会が作成した「環境教育カリキュラム」の活用状況について、「活用している」、「ときどき活用している」と回答した小学校等の割合は、それぞれ 5.1%、46.9%であるのに対して、中学校等では、それぞれ 2.2%、28.3%となっている。

また、「環境教育掲示用教材」の活用状況について、「活用している」、「ときどき活用している」と回答した小学校等の割合は、それぞれ 11.2%、56.1%であるのに対して、中学校等では、それぞれ 21.7%、32.6%となっている。

環境教育の現状と課題を把握するための調査 調査報告書

平成31年3月

編集・発行 東京都教育庁指導部義務教育指導課

所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 (03)5320-6841